

鳥取市の行政サービスに関する市民アンケート調査  
報告書

平成30年9月

行財政改革課

## 目次

<b>I 調査の概要</b> .....	1
1 調査の目的.....	1
2 調査の対象.....	1
3 調査の期間.....	1
4 調査の実施方法.....	1
5 調査の内容.....	1
6 回収数・率.....	1
<b>II 基本属性</b> .....	1
1 性別.....	1
2 年代.....	2
3 居住地域.....	2
4 職業.....	2
<b>III 調査結果</b> .....	3
1 施策に対する重要度・満足度.....	3
2 施策の評価について.....	8
(1) 相対評価.....	8
(2) ニーズ分析.....	10
3 鳥取市職員の対応等に対する満足度.....	44
(1) 鳥取市職員の（窓口・電話等の）対応についての満足度.....	44
(2) 鳥取市職員としての技量・能力についての満足度.....	45
(3) 鳥取市の窓口・手続きに対する利便性についての満足度.....	46
4 参考資料.....	47
施策順位の前回調査結果との比較.....	47

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

鳥取市では、第10次鳥取市総合計画（以下、「10次総」）に基づく30施策に対する市民のみなさんの重要度、満足度をはじめ、職員の接遇や手続きなど窓口対応に関する満足度を把握し、より一層の行政サービスの向上をめざすため、アンケート調査を行いました。

## 2 調査の対象

鳥取市内に在住の15歳以上の市民の中から無作為に抽出した2000人を対象に調査を実施しました。

## 3 調査の期間

平成30年6月1日（金）から6月25日（月）

## 4 調査の実施方法

アンケート用紙の郵送配布、郵送回収による方法で行いました。

## 5 調査の内容

- 10次総に基づく30施策に対する重要度、満足度を調査しました。
- 市職員の接遇や手続きなど窓口対応等に関する満足度を調査しました。

## 6 回収数・率

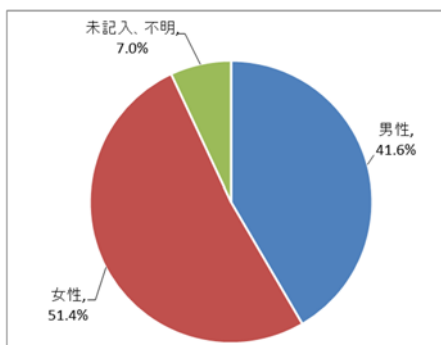
832人から回答があり、回収率は41.6%（平成30年8月2日時点）

	配付数	回答数	回収率	回答者に占める割合
男性	1,000人	346人	34.6%	41.6%
女性	1,000人	428人	42.8%	51.4%
未記入、不明	—	58人	—	7.0%
合計	2,000人	832人	41.6%	—

# II 基本属性

## 1 性別

調査の対象となった市民の性別は、「男性」が41.6%、「女性」が51.4%の内訳で、女性が過半数を占める構成となりました。

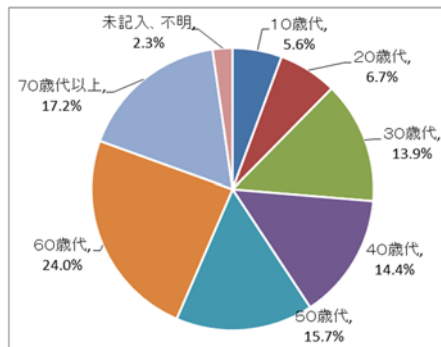


単位：人

	回答者数	割合
男性	346	41.6%
女性	428	51.4%
未記入、不明	58	7.0%
合計	832	

## 2 年代

年齢別構成をみると、全体では「60歳代」が24.0%と最も多く、次いで「70歳代以上」、「50歳代」の順となっています。

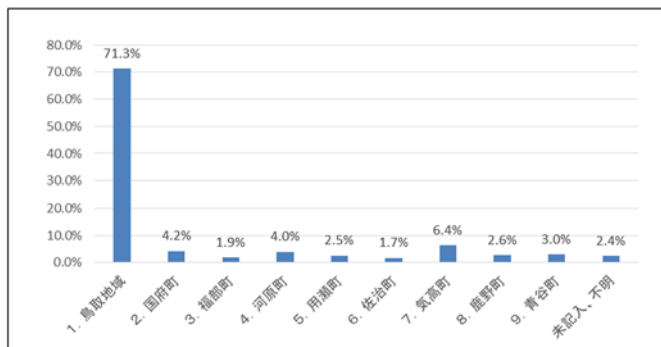


単位：人

	回答者数	割合
10歳代	47	5.6%
20歳代	56	6.7%
30歳代	116	13.9%
40歳代	120	14.4%
50歳代	131	15.7%
60歳代	200	24.0%
70歳代以上	143	17.2%
未記入、不明	19	2.3%
合計	832	

## 3 居住地

居住地は「鳥取地域」が71.3%と7割以上を占めています。

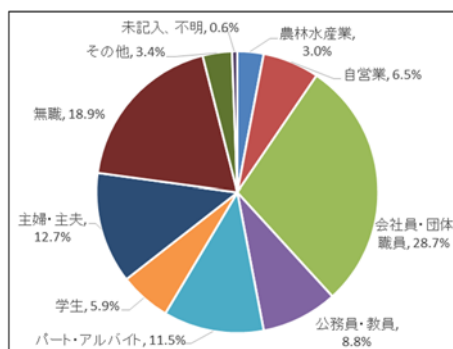


単位：人

	回答者数	割合
1. 鳥取地域	593	71.3%
2. 国府町	35	4.2%
3. 福部町	16	1.9%
4. 河原町	33	4.0%
5. 用瀬町	21	2.5%
6. 佐治町	14	1.7%
7. 気高町	53	6.4%
8. 鹿野町	22	2.6%
9. 青谷町	25	3.0%
未記入、不明	20	2.4%
合計	832	

## 4 職業

職業は、「会社員・団体職員」が28.7%と3割近くを占め最も多く、次いで「無職」、「主婦・主夫」の順となっています。



単位：人

	回答者数	割合
農林水産業	25	3.0%
自営業	54	6.5%
会社員・団体職員	239	28.7%
公務員・教員	73	8.8%
パート・アルバイト	96	11.5%
学生	49	5.9%
主婦・主夫	106	12.7%
無職	157	18.9%
その他	28	3.4%
未記入、不明	5	0.6%
合計	832	

## Ⅲ 調査結果

### 1 施策に対する重要度・満足度

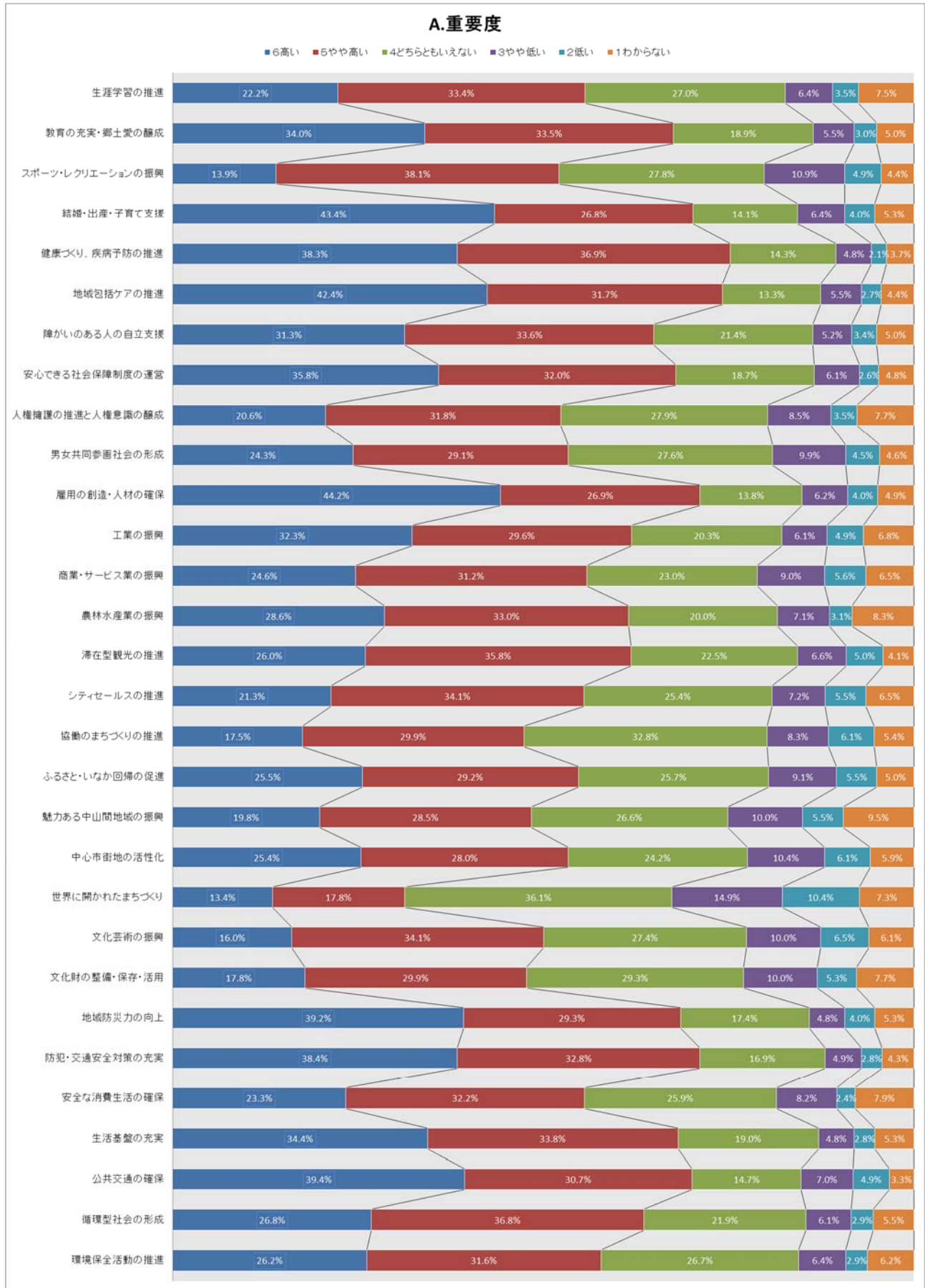
第10次総合計画に掲げる30施策の重要度、満足度について市民がどのように感じているかを調査した結果、それぞれ次のような順位となりました。

重要度		満足度	
順位	10次総の施策名	順位	10次総の施策名
1	健康づくり、疾病予防の推進	1	健康づくり、疾病予防の推進
2	地域包括ケアの推進	2	防犯・交通安全対策の充実
3	雇用の創造・人材の確保	3	滞在型観光の推進
4	防犯・交通安全対策の充実	4	スポーツ・レクリエーションの振興
5	結婚・出産・子育て支援	5	生活基盤の充実
6	公共交通の確保	6	地域防災力の向上
7	地域防災力の向上	7	循環型社会の形成
8	安心できる社会保障制度の運営	8	シティセールスの推進
9	生活基盤の充実	9	地域包括ケアの推進
10	教育の充実・郷土愛の醸成	10	教育の充実・郷土愛の醸成
11	障がいのある人の自立支援	11	環境保全活動の推進
12	循環型社会の形成	12	結婚・出産・子育て支援
13	滞在型観光の推進	13	文化財の整備・保存・活用
14	工業の振興	14	安心できる社会保障制度の運営
15	環境保全活動の推進	15	安全な消費生活の確保
16	農林水産業の振興	16	男女共同参画社会の形成
17	ふるさと・いなか回帰の促進	18	人権擁護の推進と人権意識の醸成
18	男女共同参画社会の形成	17	ふるさと・いなか回帰の促進
19	生涯学習の推進	19	文化芸術の振興
20	安全な消費生活の確保	20	協働のまちづくりの推進
21	商業・サービス業の振興	21	生涯学習の推進
22	シティセールスの推進	22	障がいのある人の自立支援
23	中心市街地の活性化	23	農林水産業の振興
24	人権擁護の推進と人権意識の醸成	24	工業の振興
25	スポーツ・レクリエーションの振興	25	雇用の創造・人材の確保
26	協働のまちづくりの推進	26	公共交通の確保
27	文化芸術の振興	27	中心市街地の活性化
28	文化財の整備・保存・活用	28	世界に開かれたまちづくり
29	魅力ある中山間地域の振興	29	商業・サービス業の振興
30	世界に開かれたまちづくり	30	魅力ある中山間地域の振興

※重要度及び満足度に対するアンケート調査の回答に、段階に応じた配点を行い数値化し、順位付けを行いました。

(高い:6点 やや高い:5点 どちらでもない:4点 やや低い:3点 低い:2点 わからない:1点)

# 各施策の回答割合(参考)



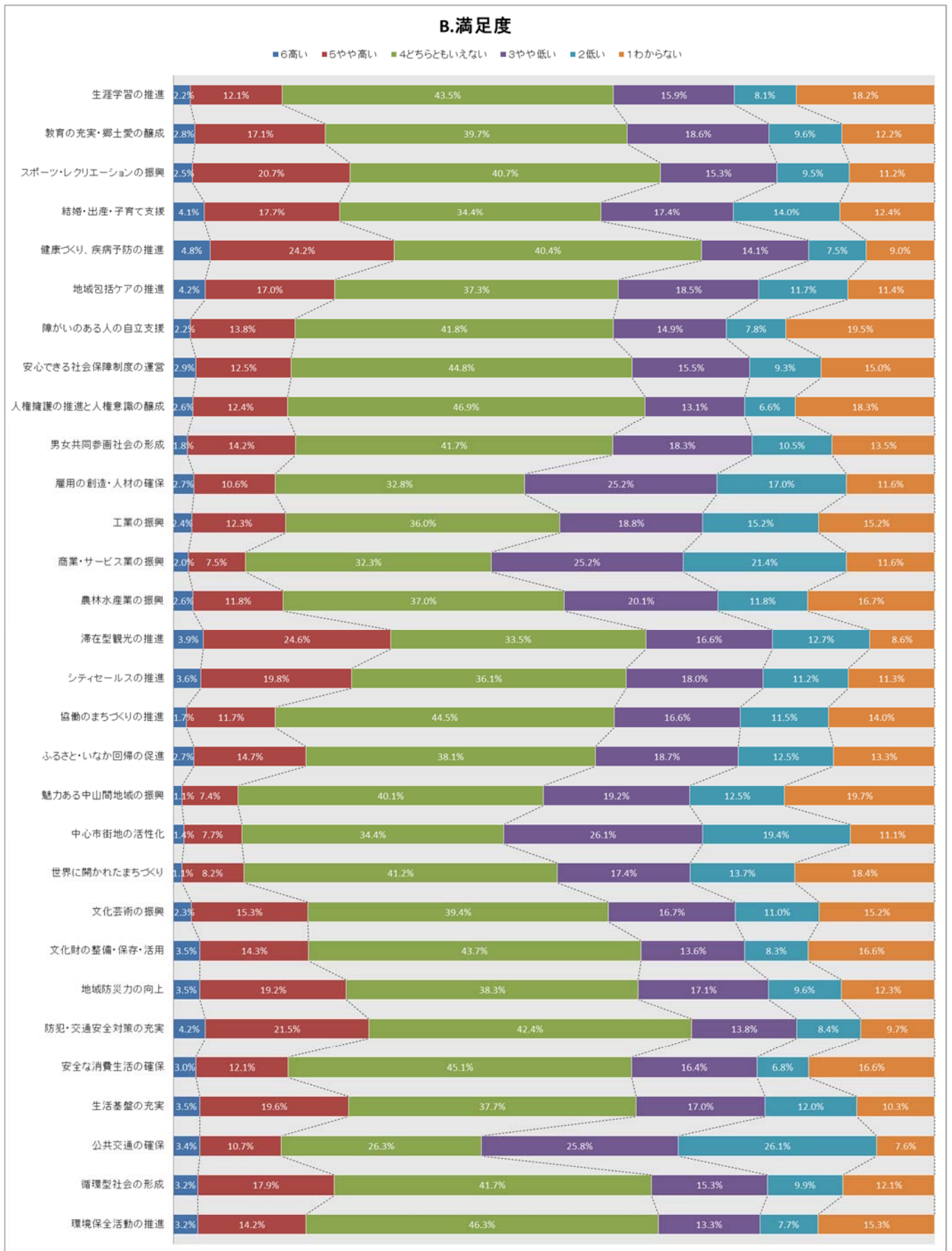
① 年代別でみた重要度の高い施策

	1位	2位	3位
10代	防犯・交通安全対策の充実	男女共同参画社会の形成	障がいがある人の自立支援
	公共交通の確保		
20代	結婚・出産・子育て支援	健康づくり、疾病予防の推進	地域包括ケアの推進
30代	結婚・出産・子育て支援	雇用の創造・人材の確保	健康づくり、疾病予防の推進
40代	雇用の創造・人材の確保	地域包括ケアの推進	健康づくり、疾病予防の推進
50代	地域包括ケアの推進	公共交通の確保	雇用の創造・人材の確保
60代	健康づくり、疾病予防の推進	地域包括ケアの推進	公共交通の確保
70代以上	地域包括ケアの推進	健康づくり、疾病予防の推進	防犯・交通安全対策の充実

② 年代別でみた重要度の低い施策

	30位	29位	28位
10代	魅力ある中山間地域の振興	世界に開かれたまちづくり	シティセールスの推進
20代	世界に開かれたまちづくり	魅力ある中山間地域の振興	文化芸術の振興
30代	世界に開かれたまちづくり	文化芸術の振興	協働のまちづくりの推進
			文化財の整備・保存・活用
40代	世界に開かれたまちづくり	魅力ある中山間地域の振興	文化芸術の振興
50代	世界に開かれたまちづくり	文化財の整備・保存・活用	スポーツ・レクリエーションの振興
60代	世界に開かれたまちづくり	文化財の整備・保存・活用	中心市街地の活性化
70代以上	世界に開かれたまちづくり	商業・サービス業の振興	協働のまちづくりの推進

# 各施策の回答割合(参考)





① 年代別でみた満足度の高い施策

	1位	2位	3位
10代	防犯・交通安全対策の充実	スポーツ・レクリエーションの振興	教育の充実・郷土愛の醸成 環境保全活動の推進
20代	健康づくり、疾病予防の推進	シティセールスの推進	滞在型観光の推進
30代	滞在型観光の推進	結婚・出産・子育て支援	スポーツ・レクリエーションの振興
40代	健康づくり、疾病予防の推進	生活基盤の充実	防犯・交通安全対策の充実
50代	防犯・交通安全対策の充実	滞在型観光の推進	健康づくり、疾病予防の推進 シティセールスの推進
60代	健康づくり、疾病予防の推進	防犯・交通安全対策の充実	地域包括ケアの推進
70代以上	健康づくり、疾病予防の推進	防犯・交通安全対策の充実	スポーツ・レクリエーションの振興

② 年代別でみた満足度の低い施策

	30位	29位	28位
10代	工業の振興	雇用の創造・人材の確保	魅力ある中山間地域の振興
20代	公共交通の確保	協働のまちづくりの推進	障がいのある人の自立支援
30代	魅力ある中山間地域の振興	商業・サービス業の振興	工業の振興
		公共交通の確保	
40代	中心市街地の活性化	商業・サービス業の振興	世界に開かれたまちづくり
50代	中心市街地の活性化	生涯学習の推進	商業・サービス業の振興
60代	世界に開かれたまちづくり	魅力ある中山間地域の振興	商業・サービス業の振興
70代以上	魅力ある中山間地域の振興	商業・サービス業の振興	世界に開かれたまちづくり

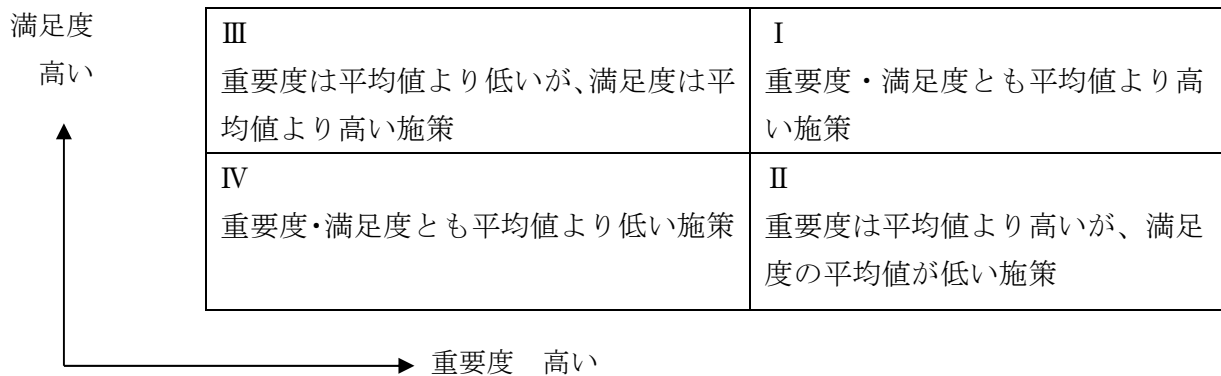
## 2 施策の評価について

### (1) 相対評価

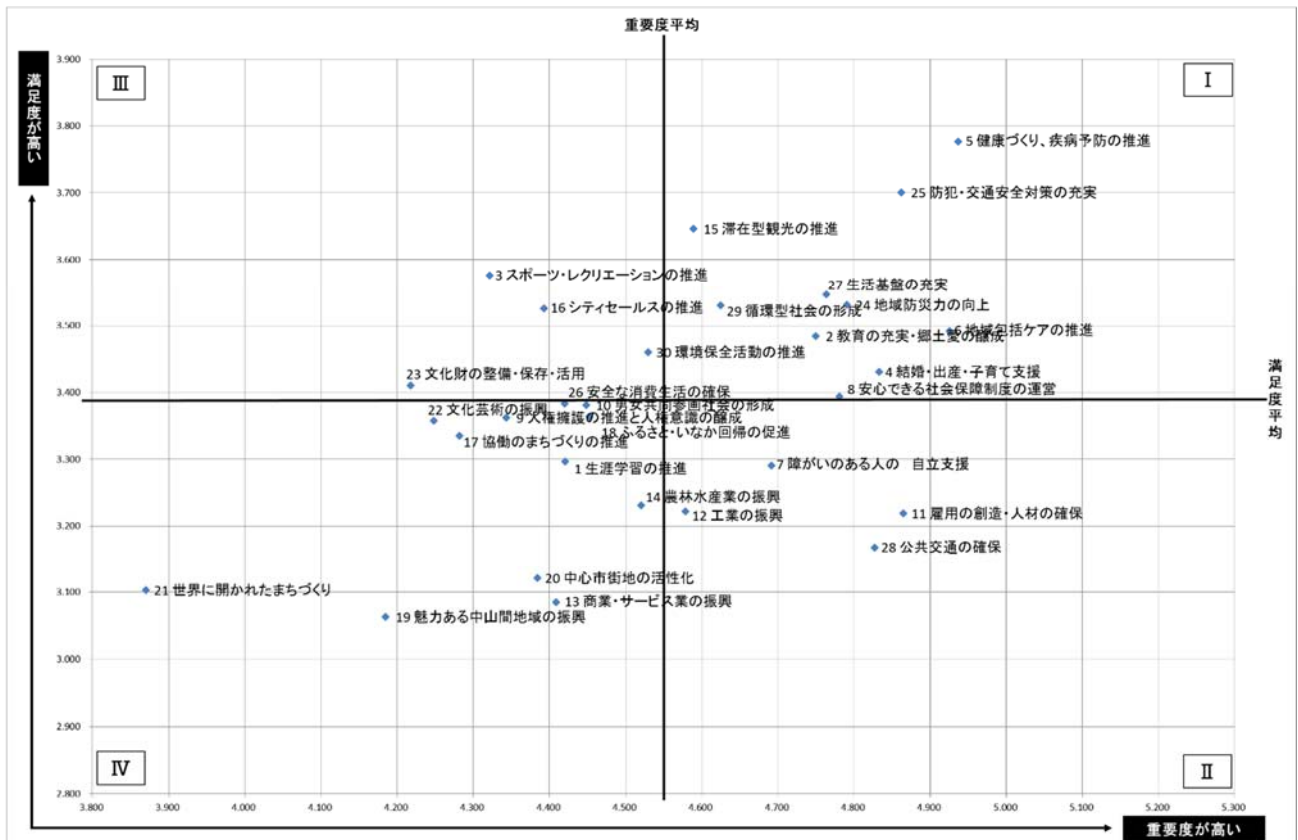
相対評価は、「重要度と満足度の全体平均値」に対して、「各施策の重要度と満足度」がそれぞれどの程度かを比較したものです。

ここでは、縦軸に満足度、横軸に重要度をとって散布図を作成し、さらに満足度と重要度の平均線を引くことで、各施策を4つのエリアに振り分けています。

#### 【各エリアの見方】



#### 相対評価



※施策名横の番号は、各施策の通し番号

エリア別の施策一覧

<p>I (重:高、満:高)</p>	<p>「教育の充実・郷土愛の醸成」「結婚・出産・子育て支援」「健康づくり、疾病予防の推進」「地域包括ケアの推進」「安心できる社会保障制度の運営」「滞在型観光の推進」「地域防災力の向上」「防犯・交通安全対策の充実」「生活基盤の充実」「循環型社会の形成」</p>
<p>II (重:高、満:低)</p>	<p>「障がいのある人の自立支援」「雇用の創造・人材の確保」「工業の振興」「公共交通の確保」</p>
<p>III (重:低、満:高)</p>	<p>「スポーツ・レクリエーションの振興」「シティセールスの推進」「文化財の整備・保存・活用」「安全な消費生活の確保」「環境保全活動の推進」</p>
<p>IV (重:低、満:低)</p>	<p>「生涯学習の推進」「人権擁護の推進と人権意識の醸成」「男女共同参画社会の形成」「商業・サービス業の振興」「農林水産業の振興」「協働のまちづくりの推進」「ふるさと・いなか回帰の促進」「魅力ある中山間地域の振興」「中心市街地の活性化」「世界に開かれたまちづくり」「文化芸術の振興」</p>

## (2) ニーズ分析

市民から改善が望まれている施策をより詳細に把握するため、ニーズ度を設定しました。

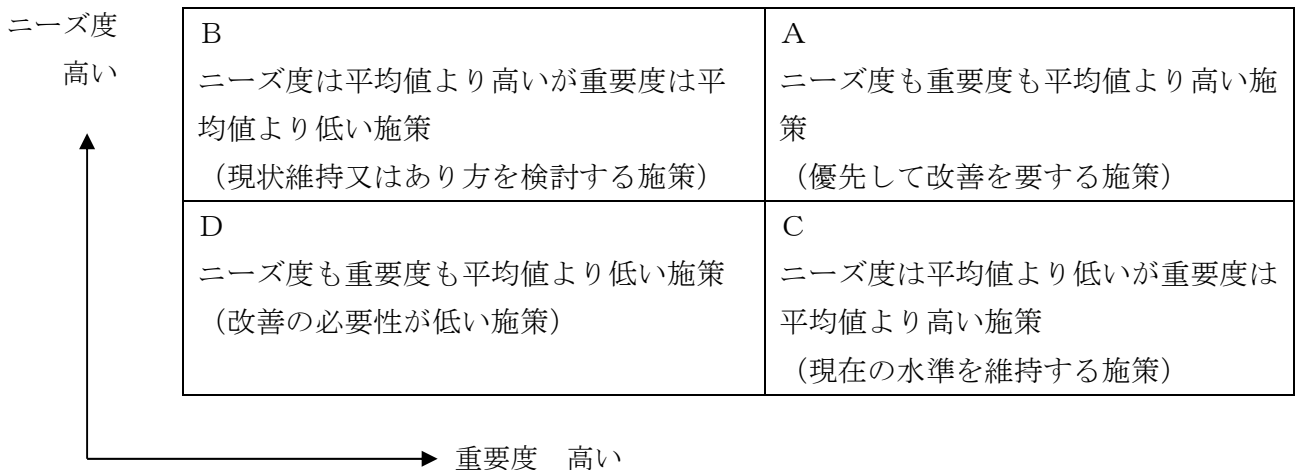
ニーズ度は重要度と満足度の差としています。この差が大きいほど、重要度と満足度との間にギャップがあり、早急な改善や対策等を図る必要性があることを示しています。

順位	10次総の施策名
1	公共交通の確保
2	雇用の創造・人材の確保
3	地域包括ケアの推進
4	結婚・出産・子育て支援
5	障がいのある人の自立支援
6	安心できる社会保障制度の運営
7	工業の振興
8	商業・サービス業の振興
9	農林水産業の振興
10	中心市街地の活性化
11	教育の充実・郷土愛の醸成
12	地域防災力の向上
13	生活基盤の充実
14	健康づくり、疾病予防の推進
15	防犯・交通安全対策の充実
16	生涯学習の推進
17	魅力ある中山間地域の振興
18	ふるさと・いなか回帰の促進
19	循環型社会の形成
20	環境保全活動の推進
21	男女共同参画社会の形成
22	安全な消費生活の確保
23	人権擁護の推進と人権意識の醸成
24	協働のまちづくりの推進
25	滞在型観光の推進
26	文化芸術の振興
27	シティセールスの推進
28	文化財の整備・保存・活用
29	世界に開かれたまちづくり
30	スポーツ・レクリエーションの振興

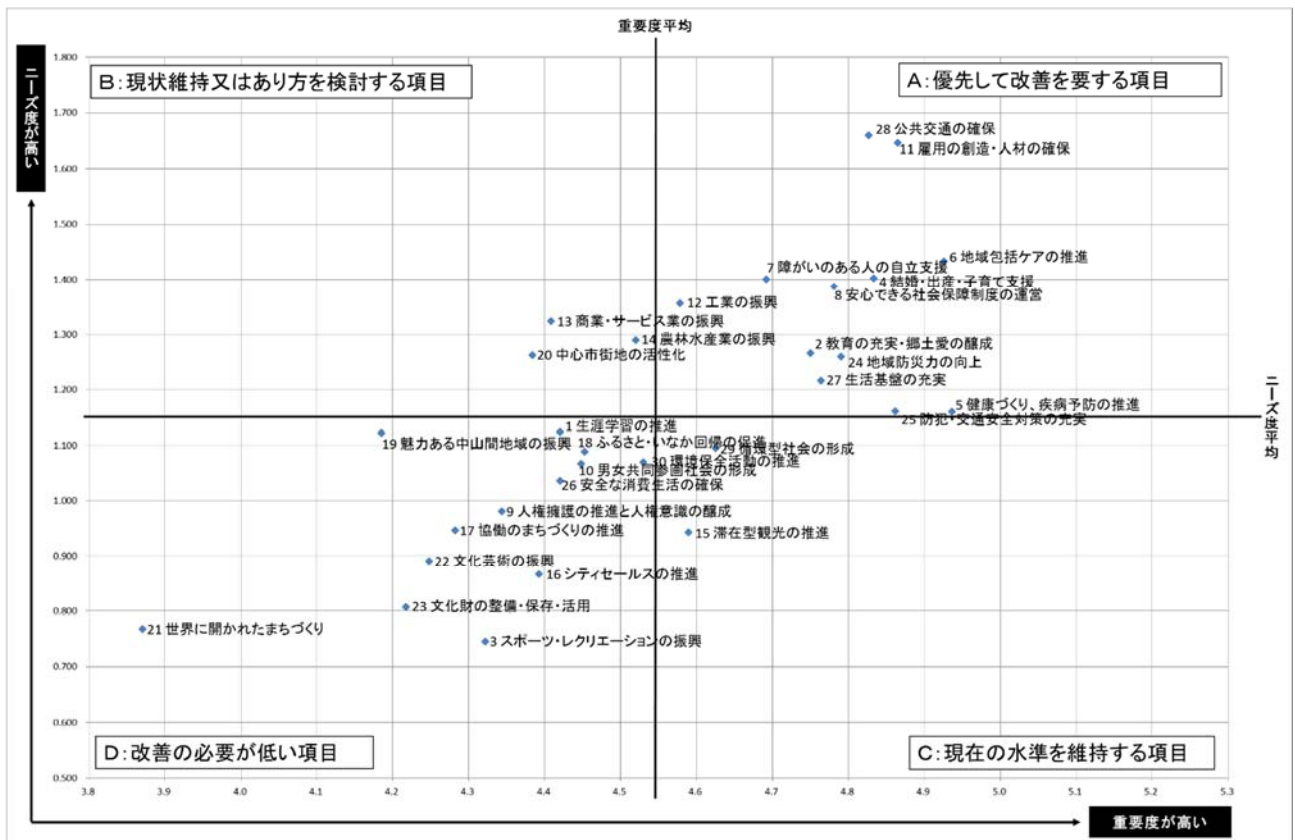
ニーズ度の高い施策の中でも、改善の優先度をつけるため、「重要度とニーズ度の全体平均値」に対して、「各施策の重要度とニーズ度」がそれぞれの程度かを比較しました。

ここでは、縦軸にニーズ度、横軸に重要度をとって散布図を作成し、さらにニーズ度と重要度の平均線を引くことで、各施策を4つのエリアに振り分けています。

【エリアの見方】



エリア別の施策一覧



※施策名横の番号は各施策の通し番号

施策別の一覧表

<p>A (ニ:高、重:高)</p>	<p>「教育の充実・郷土愛の醸成」「結婚・出産・子育て支援」「健康づくり、疾病予防の推進」「地域包括ケアの推進」「障がいのある人の自立支援」「安心できる社会保障制度の運営」「雇用の創造・人材の確保」「工業の振興」「地域防災力の向上」「防犯・交通安全対策の充実」「生活基盤の充実」「公共交通の確保」</p>
<p>B (ニ:高、重:低)</p>	<p>「商業・サービス業の振興」「農林水産業の振興」「中心市街地の活性化」</p>
<p>C (ニ:低、重:高)</p>	<p>「滞在型観光の推進」「循環型社会の形成」</p>
<p>D (ニ:低、重:低)</p>	<p>「生涯学習の推進」「スポーツ・レクリエーションの振興」「人権擁護の推進と人権意識の醸成」「男女共同参画社会の形成」「シティセールスの推進」「協働のまちづくりの推進」「ふるさと・いなか回帰の促進」「魅力ある中山間地域の振興」「世界に開かれたまちづくり」「文化芸術の振興」「文化財の整備・保存・活用」「安全な消費生活の確保」「環境保全活動の推進」</p>

## 施策別の分析結果のまとめ

● 施策別一覧表／重要度・満足度・ニーズ度／平均値・相対順位・相対評価・評価エリア

No.	施策名	重要度				満足度				相対評価	ニーズ度			評価エリア
		平均値	平均値－全体平均	相対順位	標準偏差	平均値	平均値－全体平均	相対順位	標準偏差		重要度－満足度	相対順位	平均値－個別ニーズ度	
1	生涯学習の推進	4.421	-0.122	19	1.39	3.297	-0.086	21	1.36	IV	1.124	16	-0.036	D
2	教育の充実・郷土愛の醸成	4.750	0.208	10	1.33	3.484	0.101	10	1.30	I	1.266	10	0.107	A
3	スポーツ・レクリエーションの振興	4.322	-0.221	25	1.24	3.577	0.194	4	1.29	III	0.745	30	-0.414	D
4	結婚・出産・子育て支援	4.833	0.291	5	1.42	3.431	0.048	12	1.37	I	1.402	4	0.243	A
5	健康づくり、疾病予防の推進	4.937	0.394	1	1.22	3.777	0.394	1	1.28	I	1.160	15	0.001	A
6	地域包括ケアの推進	4.926	0.383	2	1.31	3.492	0.109	9	1.33	I	1.434	3	0.274	A
7	障がいのある人の自立支援	4.692	0.150	11	1.32	3.291	-0.092	22	1.39	II	1.401	5	0.242	A
8	安心できる社会保障制度の運営	4.781	0.239	8	1.32	3.394	0.011	14	1.32	I	1.387	6	0.228	A
9	人権擁護の推進と人権意識の醸成	4.343	-0.199	24	1.39	3.362	-0.020	18	1.37	IV	0.981	23	-0.178	D
10	男女共同参画社会の形成	4.448	-0.094	18	1.33	3.381	-0.002	16	1.28	IV	1.067	21	-0.092	D
11	雇用の創造・人材の確保	4.865	0.323	3	1.40	3.219	-0.164	25	1.26	II	1.646	2	0.486	A
12	工業の振興	4.579	0.036	14	1.46	3.222	-0.161	24	1.34	II	1.357	7	0.197	A
13	商業・サービス業の振興	4.409	-0.134	21	1.42	3.084	-0.298	29	1.21	IV	1.324	8	0.165	B
14	農林水産業の振興	4.520	-0.022	16	1.46	3.231	-0.152	23	1.34	IV	1.289	9	0.130	B
15	滞在型観光の推進	4.589	0.047	13	1.30	3.646	0.263	3	1.31	I	0.943	25	-0.216	C
16	シティセールスの推進	4.393	-0.149	22	1.38	3.526	0.143	8	1.33	III	0.867	27	-0.292	D
17	協働のまちづくりの推進	4.282	-0.260	26	1.31	3.335	-0.048	20	1.28	IV	0.947	24	-0.212	D
18	ふるさと・いなか回帰の促進	4.453	-0.090	17	1.37	3.364	-0.019	17	1.32	IV	1.089	19	-0.070	D
19	魅力ある中山間地域の振興	4.185	-0.357	29	1.49	3.063	-0.320	30	1.31	IV	1.122	17	-0.037	D
20	中心市街地の活性化	4.384	-0.158	23	1.42	3.121	-0.262	27	1.18	IV	1.263	11	0.104	B
21	世界に開かれたまちづくり	3.870	-0.672	30	1.39	3.103	-0.280	28	1.30	IV	0.768	29	-0.391	D
22	文化芸術の振興	4.248	-0.294	27	1.35	3.357	-0.026	19	1.35	IV	0.891	26	-0.269	D
23	文化財の整備・保存・活用	4.218	-0.324	28	1.40	3.411	0.028	13	1.38	III	0.807	28	-0.352	D
24	地域防災力の向上	4.790	0.248	7	1.39	3.531	0.148	6	1.33	I	1.259	12	0.100	A
25	防犯・交通安全対策の充実	4.862	0.320	4	1.29	3.700	0.317	2	1.28	I	1.161	14	0.002	A
26	安全な消費生活の確保	4.420	-0.122	20	1.40	3.383	0.000	15	1.34	III	1.037	22	-0.122	D
27	生活基盤の充実	4.764	0.222	9	1.33	3.547	0.164	5	1.31	I	1.217	13	0.057	A
28	公共交通の確保	4.827	0.285	6	1.33	3.167	-0.216	26	1.24	II	1.660	1	0.500	A
29	循環型社会の形成	4.625	0.083	12	1.31	3.530	0.147	7	1.31	I	1.095	18	-0.064	C
30	環境保全活動の推進	4.530	-0.012	15	1.35	3.460	0.078	11	1.34	III	1.069	20	-0.090	D
	平均値	4.542				3.383					1.159			

### 相対評価

I：重要度・満足度とも平均値より高い項目  
 II：重要度は平均値より高いが、満足度の平均値が低い項目  
 III：重要度の平均値は低い、満足度の平均値は高い項目  
 IV：重要度・満足度とも平均値より低い項目

### 評価エリア

Aエリア：重要度もニーズ度も高い／優先して改善を要する項目  
 Bエリア：ニーズ度は高いが重要度は低い／現状維持又はあり方を検討する項目  
 Cエリア：重要度は高いがニーズ度は低い／現在の水準を維持する項目  
 Dエリア：重要度もニーズ度も低い／改善の必要性が低い項目

◆ 施策別分析結果

1. 生涯学習の推進

【施策の概要】

現状と課題	<p>○ 社会の成熟に伴い、「心の豊かさやゆとりある生活」が重視され、「いつでも どこでも 誰でも 誰とでも 何でも いつまでも」学習できる環境づくりが求められています。</p> <p>○ 社会の複雑化や情報通信技術の発達等により、学習ニーズは高度化・多様化しています。</p> <p>○ 学習により習得した知識・技術等を地域に還元し、「絆」をつなぎ、さまざまな課題に対応できるコミュニティづくりが求められています。</p> <p>○ 学習で得た知識・技能等の成果を生かした活動や交流は、地域への愛着や生きがいのある充実した暮らしにつながります。</p> <p>○ 「尚徳大学」や「鳥取市民大学」、「子育て親育ち講座」をはじめ、各地区公民館や市立図書館等において生涯学習活動が積極的に行われています。</p> <p>○ 読書環境の充実を図るため、市立図書館3館や中央公民館図書室、移動図書館車により市内全域への図書館サービスを行うとともに、鳥取県立図書館をはじめ県内の各図書館とも連携しています。</p>
めざす方向	「第2次鳥取市生涯学習推進基本方針」に基づき、市民が自発的に、生涯にわたって自由に学習機会を選択して学び、学習の成果を生かすことで、自己実現のできる社会をめざします。
施策の主な内容	<p>① 生涯にわたって学ぶことのできる機会の充実</p> <p>② 学習成果を生かす仕組みづくりと人材育成</p> <p>③ 家庭・学校・地域等の連携による教育力の向上</p> <p>④ 読書活動の推進</p>

【分析結果】

		平均値	相対順位	備 考
重要度		4.421	19	全体平均値:4.542
満足度		3.297	21	全体平均値:3.383
ニーズ度		1.124	16	全体平均値:1.159 ※ニーズ度=重要度-満足度
相対評価		IV	重要度・満足度も低い項目	評価エリア D 改善の必要性が低い項目
		ニーズ度		凡例/【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は各属性における全施策中の当該施策の順位
項目	属性	項目単位	属性単位	<p>【ニーズ度分析による優先度】</p>
男女別	男性	2	17	
男女別	女性	1	17	
年齢別	10歳代	4	25	
	20歳代	5	22	
	30歳代	1	13	
	40歳代	2	12	
	50歳代	3	13	
	60歳代	6	20	
	70歳代以上	7	24	
地域別	鳥取地域	1	15	
	新市域	2	21	
職業別	農林水産業	6	22	
	自営業	9	21	
	会社員・団体職員	1	15	
	公務員・教員	7	17	
	パート・アルバイト	3	14	
	学生	4	24	
	主婦・主夫	5	13	
	無職	8	20	
その他	2	8		

※優先度は、各調査年度の重要度及びニーズ度の平均値から、当該施策がどのくらい離れているかで設定しています。  
 ※●はこのたびの調査による評価結果、◆はH25年度調査時の類似施策の評価結果です。



【施策の概要】

現状と課題	<p>○ 少子化による児童・生徒数の減少は、地域・家庭の教育力に大きく影響し、これまで以上に学校・家庭・地域が連携した学校運営の取組が必要となっています。</p> <p>○ 全国学力・学習状況調査等の結果から、本市の児童・生徒の学力は、全国水準をやや上回っていますが、主体的に学習に向かう授業づくりと学習意欲の向上が必要となっています。</p> <p>○ 不登校児童・生徒数は小中学校とも増加傾向となっています。不登校、その他問題行動等を含む学校不応 対策の充実が求められています。</p> <p>○ 特別な支援を必要とする子どもがその能力や可能性を最大限に伸ばし、社会の中でいきいきと暮らしていくため、一人ひとりのニーズに応じた教育の充実が必要となっています。</p> <p>○ 本市の重要な教育活動として児童・生徒がふるさと鳥取の自然や文化に直接ふれる体験活動に取り組んでいます。</p> <p>○ 小中学校施設の耐震化は着実に進んでいますが、施設・設備の老朽化への対応や温暖化の影響による猛暑対策など、教室の環境改善も必要となっています。</p> <p>○ 児童・生徒の安全確保のため、事故や災害の発生に備えた対策の充実・強化が必要となっています。</p> <p>○ 次代を見据えた優秀な人材の育成・確保のため、高等教育機関における教育機会のさらなる充実が必要となっています。</p>
めざす方向	「ふるさとを思い 志をもつ子」を育て、夢と希望に満ちた生きがいのある人生の礎を築きます。
施策の主な内容	<p>① ふるさと愛を育む教育の推進</p> <p>② 社会を生き抜く力を育む特色ある教育の推進</p> <p>③ 学校・家庭・地域の連携による教育支援</p> <p>④ 教育環境の充実</p> <p>⑤ 安全な学校給食の推進</p>

【分析結果】

		平均値	相対順位	備 考	
重要度		4.750	10	全体平均値:4.542	
満足度		3.484	10	全体平均値:3.383	
ニーズ度		1.266	10	全体平均値:1.159 ※ニーズ度=重要度-満足度	
相対評価		I	重要度・満足度とも高い項目	評価エリア	A 優先して改善を要する項目
		ニーズ度		凡例/【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は各属性における全施策中の当該施策の順位	
項目	属性	項目単位	属性単位	<p>【ニーズ度分析による優先度】</p>	
男女別	男性	2	11		
	女性	1	9		
年齢別	10歳代	7	27		
	20歳代	4	17		
	30歳代	1	10		
	40歳代	2	6		
	50歳代	3	7		
	60歳代	6	11		
	70歳代以上	5	11		
地域別	鳥取地域	1	10		
	新市域	2	9		
職業別	農林水産業	2	15		
	自営業	8	3		
	会社員・団体職員	1	8		
	公務員・教員	4	5		
	パート・アルバイト	3	5		
	学生	7	27		
	主婦・主夫	6	11		
	無職	9	18		
	その他	5	10		

※優先度は、各調査年度の重要度及びニーズ度の平均値から、当該施策がどのくらい離れているかで設定しています。  
※●はこのたびの調査による評価結果、◆はH25年度調査時の類似施策の評価結果です。

【施策の概要】

現状と課題	<p>○ 子どもの体力の低下が顕著であることや積極的にスポーツをする子どもとそうでない子どもの二極化傾向が見られることから、幼児期から体を使った遊びや運動を行うことが重要となっています。</p> <p>○ 体力の向上、ストレス発散など市民の健康づくりに対するニーズの高まりや自由時間の増加等から、誰もがいつでもどこでも気軽に参加できる生涯スポーツやレクリエーションへの関心が高まっています。</p> <p>○ 本市独自の「市民体育祭」や、各小学校区単位で運動会が実施されるなど、地域において市民が主体となった活動が展開されています。</p> <p>○ 市民の主体的なスポーツ・レクリエーション活動を支援し、年齢や性別、障がい等を問わず、関心や適正等に応じて、生涯にわたりこれらに参加できる環境づくりが必要です。</p> <p>○ 「2020年東京オリンピック・パラリンピック」の開催に向けて、スポーツ振興の機運が高まっており、交流人口の拡大などスポーツを通じた地方の活性化に期待が寄せられています。</p>
めざす方向	<p>「鳥取市スポーツ推進計画」に基づき、誰もがいつでもスポーツを楽しむ機会やレクリエーション活動を実践できる環境を整え、スポーツやレクリエーション活動を通じて、活力に満ちた豊かな人生を送ることができるまちづくりを進めます。</p>
施策の主な内容	<p>① スポーツ・レクリエーションの推進</p> <p>② 地域活力の創出に向けたスポーツ振興</p>

【分析結果】

		平均値	相対順位	備 考	
重要度		4.322	25	全体平均値: 4.542	
満足度		3.577	4	全体平均値: 3.383	
ニーズ度		0.745	30	全体平均値: 1.159 ※ニーズ度=重要度-満足度	
相対評価		Ⅲ	重要度は低い、満足度の高い項目	評価エリア	D 改善の必要性が低い項目
		ニーズ度		凡例/【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は各属性における全施策中の当該施策の順位	
項目	属性	項目単位	属性単位	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>【ニーズ度分析による優先度】</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>重要度平均</p> <p>ニーズ度平均</p> </div> </div>	
男女別	男性	2	28		
	女性	1	30		
年齢別	10歳代	2	30		
	20歳代	3	26		
	30歳代	1	27		
	40歳代	4	28		
	50歳代	5	29		
	60歳代	6	30		
	70歳代以上	7	30		
地域別	鳥取地域	1	28		
	新市域	2	30		
職業別	農林水産業	7	30		
	自営業	9	29		
	会社員・団体職員	2	29		
	公務員・教員	5	26		
	パート・アルバイト	4	28		
	学生	1	30		
	主婦・主夫	6	29		
	無職	8	30		
	その他	3	27		

※優先度は、各調査年度の重要度及びニーズ度の平均値から、当該施策がどのくらい離れているかで設定しています。  
 ※●はこのたびの調査による評価結果、◆はH25年度調査時の類似施策の評価結果です。

【施策の概要】

現状と課題	<p>○ 本市の出生数は減少傾向にあり少子化が進展しています。男女の出会いから結婚までを支援するとともに、安心して妊娠、出産、子育てができる支援体制の充実を図っていくことが大切です。</p> <p>○ 核家族化の進展、ひとり親家庭や共働き世帯の増加、親同士のコミュニケーションの不足、育児における孤立感や不安感等から、子育てを取り巻くさまざまな問題が発生しています。</p> <p>○ 基本的な生活習慣が身につけていない子ども、戸外での遊びなど運動経験の少ない子どもが増加する傾向にあります。</p> <p>○ 病気や障がいのある子ども、発達に困難感を抱える子どもへの発達支援は、家庭、保育園・幼稚園、小学校と生活の場が変化しても途切れることなく継続することが望まれています。</p> <p>○ 仕事等により、保護者が放課後に保育できない児童を対象とした放課後児童クラブへの入級児童数が増加しています。</p> <p>○ 子育ては家庭や親だけが担うのではなく、家庭、地域、企業、NPO など社会全体で応援していくことが重要です。</p>
めざす方向	<p>出会いから結婚・妊娠・出産・子育てへの切れ目ない支援を行います。</p> <p>また、保健、医療、福祉、教育が連携した健康・子育て等の総合支援拠点の整備や体制の構築を図り、すべての人が健康に暮らせ、子育てしやすいまちづくりを進めます。さらに、すべての子どもが夢と希望をもって成長していくことができる社会の実現をめざし、子どもの貧困対策を総合的に推進します。</p>
施策の主な内容	<p>① 新たな出会いの場づくりと結婚支援</p> <p>② 妊娠・出産・子育ての包括的支援の充実</p> <p>③ 待機児童ゼロの継続と子育てサービスの充実</p> <p>④ 家庭、地域の子育て力の向上</p> <p>⑤ 児童虐待防止の取組強化</p> <p>⑥ 発達障がい等の相談支援・療育体制の充実</p> <p>⑦ 仕事と生活の調和の推進</p>

【分析結果】

		平均値	相対順位	備 考	
重要度		4.833	5	全体平均値: 4.542	
満足度		3.431	12	全体平均値: 3.383	
ニーズ度		1.402	4	全体平均値: 1.159 ※ニーズ度=重要度-満足度	
相対評価		I	重要度・満足度とも高い項目	評価エリア	A 優先して改善を要する項目
		ニーズ度		凡例 / 【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は各属性における全施策中の当該施策の順位	
項目	属性	項目単位	属性単位	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>【ニーズ度分析による優先度】</p> </div> <div style="width: 45%; text-align: right;"> <p>重要度平均</p> <p>ニーズ度平均</p> </div> </div>	
男女別	男性	1	5		
	女性	2	5		
年齢別	10歳代	4	12		
	20歳代	2	3		
	30歳代	1	4		
	40歳代	5	9		
	50歳代	3	4		
	60歳代	6	4		
	70歳代以上	7	13		
地域別	鳥取地域	2	7		
	新市域	1	3		
職業別	農林水産業	2	8		
	自営業	9	2		
	会社員・団体職員	1	4		
	公務員・教員	6	12		
	パート・アルバイト	4	4		
	学生	5	15		
	主婦・主夫	7	8		
	無職	8	9		
	その他	3	3		

※優先度は、各調査年度の重要度及びニーズ度の平均値から、当該施策がどのくらい離れているかで設定しています。  
 ※●はこのたびの調査による評価結果、◆はH25年度調査時の類似施策の評価結果です。

【施策の概要】

現状と課題	<p>○ 心と身体の健康は、豊かな人生を支える基本であり、健康で生きがいをもった心豊かな生活を送ることができる「健康寿命の延伸」が求められています。</p> <p>○ がん・糖尿病・COPD など生活習慣病対策には、予防と早期発見・早期治療が重要です。そのためには、市民一人ひとりが健康づくりや生活習慣病予防の必要性を認識した上で、健診を受診するという行動につなげる取組が必要です。</p> <p>○ 市民が身近な地域で、気軽に健康づくりに参加できる仕組みづくりを進めることにより、健康への関心を高め、疾病予防等の保健事業を推進する必要があります。</p> <p>○ 今後も、市民の主体的な健康維持・増進の取組を支援するとともに、生活習慣病の発症と重症化予防を目的とした、脳血管疾患・心臓病・腎臓病等の発症リスクがある人への個別支援体制の充実が必要です。</p>
めざす方向	健康寿命の延伸に向けて、市民が健康づくりや疾病予防に自発的に取り組める環境を整え、自らが健康を守り、いつまでもいきいきと元気に暮らせるまちづくりを進めます。
施策の主な内容	<p>① 健康づくりの推進</p> <p>② 疾病予防の推進</p> <p>③ 特定健康診査、がん検診の推進</p> <p>④ 心の健康づくりの推進</p> <p>⑤ 健康・子育て等の総合支援の拠点整備</p>

【分析結果】

		平均値	相対順位	備 考	
重要度		4.937	1	全体平均値:4.542	
満足度		3.777	1	全体平均値:3.383	
ニーズ度		1.160	15	全体平均値:1.159 ※ニーズ度=重要度-満足度	
相対評価		I	重要度・満足度とも高い項目	評価エリア	A 優先して改善を要する項目
		ニーズ度		凡例/【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は各属性における全施策中の当該施策の順位	
項目	属性	項目単位	属性単位	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>【ニーズ度分析による優先度】</p> </div> <div style="width: 45%; text-align: right;"> <p>重要度平均</p> <p>ニーズ度平均</p> </div> </div>	
男女別	男性	2	13		
	女性	1	16		
年齢別	10歳代	2	14		
	20歳代	5	16		
	30歳代	1	8		
	40歳代	3	16		
	50歳代	4	14		
	60歳代	6	15		
	70歳代以上	7	25		
地域別	鳥取地域	1	14		
	新市域	2	18		
職業別	農林水産業	3	20		
	自営業	7	6		
	会社員・団体職員	1	13		
	公務員・教員	5	15		
	パート・アルバイト	6	17		
	学生	2	16		
	主婦・主夫	4	9		
	無職	8	21		
	その他	9	30		

※優先度は、各調査年度の重要度及びニーズ度の平均値から、当該施策がどのくらい離れているかで設定しています。  
 ※●はこのたびの調査による評価結果、◆はH25年度調査時の類似施策の評価結果です。

【施策の概要】

現状と課題	<p>○ 単身世帯や介護・支援を必要とする高齢者が増加しています。住み慣れた地域で、安心して自立した生活を送るためには、地域全体で高齢者や障がいのある人を支え、医療、介護、介護予防、住まい、日常生活の支援が包括的に確保される「地域包括ケアシステム」を各地域の実情に応じて構築していく必要があります。</p> <p>○ 市民一人ひとりの命と暮らしを支えるためには、市民の主体的な取組とともに、保健、医療、福祉機関が個別にもつ情報を共有するなど、効果的な連携・協力体制を充実する必要があります。</p> <p>○ 地方での医師不足は日本全体の大きな課題となっています。医師の確保対策や医療機関同士の相互連携と、かかりつけの診療所の利用や適切な救急医療へのかかり方など、市民自らの力で地域医療を守る必要があります。</p>
めざす方向	<p>医療・介護・住まい・生活支援サービス等の「地域包括ケア」を提供するため、「第6期鳥取市介護保険事業計画・高齢者福祉計画」に基づき、行政や医療・介護関係者が連携し、それぞれの役割を果たしていきます。併せて、地域に暮らす人々が互いに支え合える体制づくりを進め、住み慣れた地域で最後まで安心して暮らし続けることのできるまちづくりを進めます。</p>
施策の主な内容	<p>① 在宅医療と介護の連携の推進                  ② 認知症施策の推進                  ③ 生活支援・介護予防サービスの基盤整備の推進                  ④ 高齢者の生活を支える住まいとサービスの確保                  ⑤ 地域医療体制の充実</p>

【分析結果】

		平均値	相対順位	備 考
重要度		4.926	2	全体平均値: 4.542
満足度		3.492	9	全体平均値: 3.383
ニーズ度		1.434	3	全体平均値: 1.159 ※ニーズ度=重要度-満足度
相対評価	I	重要度・満足度も高い項目		評価エリア A 優先して改善を要する項目
		ニーズ度		凡例/【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は各属性における全施策中の当該施策の順位
項目	属性	項目単位	属性単位	<p>【ニーズ度分析による優先度】</p>
男女別	男性	2	9	
	女性	1	3	
年齢別	10歳代	7	26	
	20歳代	4	6	
	30歳代	1	2	
	40歳代	2	4	
	50歳代	3	3	
	60歳代	6	8	
	70歳代以上	5	3	
地域別	鳥取地域	1	4	
	新市域	2	5	
職業別	農林水産業	2	12	
	自営業	9	4	
	会社員・団体職員	1	3	
	公務員・教員	5	7	
	パート・アルバイト	4	3	
	学生	7	25	
	主婦・主夫	3	3	
	無職	8	7	
	その他	6	9	

※優先度は、各調査年度の重要度及びニーズ度の平均値から、当該施策がどのくらい離れているかで設定しています。  
 ※●はこのたびの調査による評価結果、◆はH25年度調査時の類似施策の評価結果です。

【施策の概要】

現状と課題	<p>○ 老年人口の増加に伴い、障がいのある人やその家族の高齢化が進むため、障がいのある人が住み慣れた地域で自立して生活していくための支援の充実が必要です。</p> <p>○ 障がいのある人やその家族が自立した生活を送るためには、障がいのある人一人ひとりの心身の状態や生活実態を踏まえた適切な生活支援を行っていく必要があります。</p>
めざす方向	「鳥取市障がい者計画・第4期鳥取市障がい福祉計画」に基づき、障がいのある人が、個々の能力や個性に応じ、生きがいをもって自立した生活を送ることができるよう、相談支援体制の強化や障がい福祉サービスの充実を図ります。
施策の主な内容	<p>① 地域における相談支援体制の充実</p> <p>② 障がい児支援の充実</p> <p>③ 経済的自立への支援</p>

【分析結果】

		平均値	相対順位	備 考	
重要度		4.692	11	全体平均値:4.542	
満足度		3.291	22	全体平均値:3.383	
ニーズ度		1.401	5	全体平均値:1.159 ※ニーズ度=重要度-満足度	
相対評価		Ⅱ	重要度は高いが、満足度の低い項目	評価エリア	A 優先して改善を要する項目
		ニーズ度		凡例/【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は各属性における全施策中の当該施策の順位	
項目	属性	項目単位	属性単位	<p>【ニーズ度分析による優先度】</p> <p>重要度平均</p> <p>ニーズ度</p> <p>評価エリア:B 現状維持又はあり方を検討</p> <p>評価エリア:A 優先して改善を要する</p> <p>評価エリア:D 改善の必要性は低い</p> <p>評価エリア:C 現在の水準を維持</p> <p>重要度</p> <p>ニーズ度平均</p>	
男女別	男性	2	8		
	女性	1	4		
年齢別	10歳代	1	1		
	20歳代	3	2		
	30歳代	2	6		
	40歳代	4	11		
	50歳代	6	11		
	60歳代	7	7		
	70歳代以上	5	2		
地域別	鳥取地域	1	3		
	新市域	2	12		
職業別	農林水産業	2	3		
	自営業	9	13		
	会社員・団体職員	4	5		
	公務員・教員	5	10		
	パート・アルバイト	7	11		
	学生	1	1		
	主婦・主夫	6	7		
	無職	8	5		
	その他	3	2		

※優先度は、各調査年度の重要度及びニーズ度の平均値から、当該施策がどのくらい離れているかで設定しています。  
※●はこのたびの調査による評価結果、◆はH25年度調査時の類似施策の評価結果です。

【施策の概要】

現状と課題	<p>○ 景気の低迷による生活困窮者の急増により、生活保護申請者数、受給者数は増加しており、各世帯の実情に応じた自立支援強化策を引き続き講じることが求められています。</p> <p>○ 全国的な国保財政の悪化を背景に、医療保険制度改革による国の財政負担の拡充、国保の財政責任主体の都道府県化など、持続可能な医療保険制度の構築が進められています。</p> <p>○ 要介護や要支援認定者の増加に伴い、介護保険給付が今後さらに増大することが見込まれ、保険料や財政負担の増大が課題となっています。その中で、国は保険給付の効率化・重点化を行うことで、制度の持続可能性を高める改革を進めています。</p>
めざす方向	<p>「第6期鳥取市介護保険事業計画」、「鳥取市国民健康保険保健事業実施計画」に基づき、国民健康保険事業及び介護保険事業の健全運営と生活保護制度の適正かつきめ細かい実施に努め、誰もが健康で安心して生活を営むことができるセーフティネットを確立し、市民生活を守ります。</p>
施策の主な内容	<p>① 生活保護制度の適正運営と自立支援の推進</p> <p>② 国民健康保険事業の健全な運営</p> <p>③ 介護保険事業の健全な運営</p>

【分析結果】

		平均値	相対順位	備 考	
重要度		4.781	8	全体平均値:4.542	
満足度		3.394	14	全体平均値:3.383	
ニーズ度		1.387	6	全体平均値:1.159 ※ニーズ度=重要度-満足度	
相対評価		I	重要度・満足度とも高い項目	評価エリア	A 優先して改善を要する項目
		ニーズ度		凡例/【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は各属性における全施策中の当該施策の順位	
項目	属性	項目単位	属性単位	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>【ニーズ度分析による優先度】</p> <p>評価エリア:B 現状維持又はあり方を検討</p> <p>評価エリア:A 優先して改善を要する</p> <p>評価エリア:D 改善の必要性は低い</p> <p>評価エリア:C 現在の水準を維持</p> </div> <div style="width: 45%; text-align: right;"> <p>重要度平均</p> <p>ニーズ度平均</p> <p>重要度</p> </div> </div> <p>※優先度は、各調査年度の重要度及びニーズ度の平均値から、当該施策がどのくらい離れているかで設定しています。 ※●はこのたびの調査による評価結果、◆はH25年度調査時の類似施策の評価結果です。</p>	
男女別	男性	2	7		
男女別	女性	1	6		
年齢別	10歳代	1	4		
	20歳代	3	7		
	30歳代	2	7		
	40歳代	5	14		
	50歳代	4	5		
	60歳代	6	3		
	70歳代以上	7	10		
地域別	鳥取地域	1	5		
	新市域	2	8		
職業別	農林水産業	2	3		
	自営業	9	12		
	会社員・団体職員	4	9		
	公務員・教員	6	8		
	パート・アルバイト	7	12		
	学生	1	3		
	主婦・主夫	5	4		
	無職	8	6		
その他	3	4			

【施策の概要】

現状と課題	<p>○ 本市では、平成23年に「鳥取市差別のない人権尊重の社会づくり条例」を施行しました。平成25年4月には「鳥取市人権施策基本方針」の第1次改訂を行い、差別のない明るい人権尊重都市鳥取市の実現をめざして、市民、企業、市民啓発団体等と協働しながら、人権擁護に資する施策及び市民の人権意識の高揚を図るための施策を総合的かつ計画的に推進しています。</p> <p>○ 依然として、同和問題をはじめ女性、障がいのある人、子ども、高齢者、外国人、病気に関わる人等の人権問題が存在しており、また、インターネットによる悪質な書き込みの発生やヘイトスピーチ、東日本大震災の避難者に対する人権侵害も発生しています。</p>
めざす方向	「鳥取市人権施策基本方針」に基づき、市民一人ひとりが、人権の尊重される社会を築き上げる担い手であることを認識し、お互いの異なる考え方や生き方を認め合い、人権侵害のない心豊かな、明るい人権尊重都市の実現をめざします。
施策の主な内容	<p>① 人権擁護施策の推進と人権意識の啓発</p> <p>② 市民の人権啓発活動の支援</p> <p>③ 人権福祉センター事業の推進</p> <p>④ 人権教育の推進</p>

【分析結果】

		平均値	相対順位	備 考	
重要度		4.343	24	全体平均値:4.542	
満足度		3.362	18	全体平均値:3.383	
ニーズ度		0.981	23	全体平均値:1.159 ※ニーズ度=重要度-満足度	
相対評価		IV	重要度・満足度とも低い項目		評価エリア D 改善の必要性が低い項目
		ニーズ度		凡例/【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は各属性における全施策中の当該施策の順位	
項目	属性	項目単位	属性単位	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>【ニーズ度分析による優先度】</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>重要度平均</p> <p>ニーズ度平均</p> </div> </div>	
男女別	男性	2	25		
	女性	1	23		
年齢別	10歳代	1	13		
	20歳代	3	18		
	30歳代	2	20		
	40歳代	4	24		
	50歳代	5	23		
	60歳代	7	28		
	70歳代以上	6	20		
地域別	鳥取地域	1	24		
	新市域	2	23		
職業別	農林水産業	2	19		
	自営業	9	24		
	会社員・団体職員	4	24		
	公務員・教員	6	20		
	パート・アルバイト	7	27		
	学生	1	12		
	主婦・主夫	3	15		
	無職	8	24		
	その他	5	21		

※優先度は、各調査年度の重要度及びニーズ度の平均値から、当該施策がどのくらい離れているかで設定しています。  
 ※●はこのたびの調査による評価結果、◆はH25年度調査時の類似施策の評価結果です。



【施策の概要】

現状と課題	<p>○ 本市は、平成14年に「男女共同参画都市宣言」を行うとともに、「鳥取市男女共同参画推進条例」を制定し、家庭、地域、職場等におけるあらゆる活動において、性別にとらわれることなく、対等な立場に立って、女性と男性がともに喜びと責任を分かち合う男女共同参画社会の形成に取り組んでいます。</p> <p>○ 従来から女性の就業率が高く、さまざまな分野への女性の参加が進んでいます。一方、職場や家庭、地域では男女の固定的な性別役割分担意識が残っています。</p> <p>○ 社会のあらゆる活動において、性別にとらわれず、個性と能力を発揮できる男女共同参画社会形成の促進に積極的に取り組む必要があります。</p>
めざす方向	<p>「第3次鳥取市男女共同参画かがやきプラン」に基づき、性別に関わりなく一人ひとりが個人として尊重され、自らの意志によって学校、家庭、地域、職場等あらゆる分野に参画する機会があり、すべての人々が個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会の形成をめざします。</p>
施策の主な内容	<p>① 男女共同参画社会の実現に向けた意識改革</p> <p>② あらゆる分野での女性の活躍促進</p> <p>③ 生涯を通じた女性の安全・安心の確保</p>

【分析結果】

		平均値	相対順位	備 考	
重要度		4.448	18	全体平均値:4.542	
満足度		3.381	16	全体平均値:3.383	
ニーズ度		1.067	21	全体平均値:1.159 ※ニーズ度=重要度-満足度	
相対評価		IV	重要度・満足度も低い項目	評価エリア	D 改善の必要性が低い項目
		ニーズ度		凡例/【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は各属性における全施策中の当該施策の順位	
項目	属性	項目単位	属性単位	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>【ニーズ度分析による優先度】</p> <p>評価エリア:A 優先して改善を要する</p> <p>評価エリア:B 現状維持又はあり方を検討</p> <p>評価エリア:C 現在の水準を維持</p> <p>評価エリア:D 改善の必要性は低い</p> </div> <div style="width: 45%; text-align: right;"> <p>重要度平均</p> <p>ニーズ度平均</p> <p>重要度</p> </div> </div> <p>※優先度は、各調査年度の重要度及びニーズ度の平均値から、当該施策がどのくらい離れているかで設定しています。 ※●はこのたびの調査による評価結果、◆はH25年度調査時の類似施策の評価結果です。</p>	
男女別	男性	2	22		
	女性	1	15		
年齢別	10歳代	2	10		
	20歳代	5	24		
	30歳代	1	16		
	40歳代	3	19		
	50歳代	4	20		
	60歳代	7	23		
	70歳代以上	6	18		
地域別	鳥取地域	2	22		
	新市域	1	15		
職業別	農林水産業	1	3		
	自営業	9	28		
	会社員・団体職員	4	20		
	公務員・教員	7	22		
	パート・アルバイト	6	21		
	学生	2	11		
	主婦・主夫	3	6		
	無職	8	23		
	その他	5	14		

【施策の概要】

現状と課題	<p>○ 鳥取県東部地域の有効求人倍率は、平成28年3月末時点で1.16倍と回復傾向にある中、本市への企業誘致は着実に進んでおり、今後、正規雇用の求人の増加が見込まれるため、企業が求める人材の確保が喫緊の課題です。</p> <p>○ 世界経済が環境・エネルギー等の成長産業へ移行していることを踏まえ、地域の特性を生かしながら、今後成長が見込まれる産業の雇用創造へ向けた取組が必要です。</p> <p>○ 地域産業を支える優秀な人材の育成や求人側と求職側のマッチング機会をより多く設け、就職に結びつけるとともに、UJIターンの促進も含めた若者の定着を図ることが重要です。</p> <p>○ 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の充実や正規雇用の拡大、賃金引き上げ等により、雇用環境を改善していく必要があります。</p> <p>○ 「第3次鳥取市経済再生・雇用創造戦略」を策定し、本市の経済再生・雇用創造を強力に進める産業施策・雇用施策に取り組んでいます。</p>
めざす方向	<p>地元企業・事業者の育成・発展に取り組むとともに、地元産業の発展につながる企業誘致や成長産業の振興・支援により雇用の拡大をめざします。</p> <p>また、若者の雇用の場の確保に重点的に取り組むとともに、労働者がいきいきと働ける雇用環境をめざします。</p>
施策の主な内容	<p>① 経済再生のための成長産業の創出</p> <p>② 地域資源活用による産業創出</p> <p>③ 地域課題解決による産業創出</p> <p>④ 人材育成・確保の推進</p> <p>⑤ 仕事と生活の調和の推進</p>

【分析結果】

		平均値	相対順位	備 考	
重要度		4.865	3	全体平均値: 4.542	
満足度		3.219	25	全体平均値: 3.383	
ニーズ度		1.646	2	全体平均値: 1.159 ※ニーズ度=重要度-満足度	
相対評価		II	重要度は高いが、満足度の低い項目	評価エリア	A 優先して改善を要する項目
		ニーズ度		凡例/【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は各属性における全施策中の当該施策の順位	
項目	属性	項目単位	属性単位	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>【ニーズ度分析による優先度】</p> </div> <div style="width: 45%; text-align: right;"> <p>重要度平均</p> <p>ニーズ度平均</p> <p>重要度</p> </div> </div>	
男女別	男性	1	1		
	女性	2	2		
年齢別	10歳代	3	3		
	20歳代	5	4		
	30歳代	1	1		
	40歳代	2	1		
	50歳代	4	2		
	60歳代	6	1		
	70歳代以上	7	6		
地域別	鳥取地域	1	2		
	新市域	2	1		
職業別	農林水産業	1	1		
	自営業	9	16		
	会社員・団体職員	2	1		
	公務員・教員	5	2		
	パート・アルバイト	6	2		
	学生	3	4		
	主婦・主夫	4	1		
	無職	8	3		
その他	7	5			

※優先度は、各調査年度の重要度及びニーズ度の平均値から、当該施策がどのくらい離れているかで設定しています。  
 ※●はこのたびの調査による評価結果、◆はH25年度調査時の類似施策の評価結果です。

【施策の概要】

現状と課題	<p>○ 近年、鳥取自動車道等の高速交通網整備の進捗や企業におけるリスク分散等を背景に、成長産業を主とする企業の本市への進出が進んでいます。</p> <p>○ 鳥取自動車道の全線開通に伴い、関西圏・山陽圏・中京圏とのつながりを生かした企業誘致を積極的に進めていく中で、企業立地を促進する新たな工業団地の整備・検討が必要です。</p> <p>○ 成長分野における産業創造や農商工連携・産学官連携による新技術・新製品の開発など、地元中小企業等の新たな展開・チャレンジを促進・支援しながら、本市経済の再生・活性化を図ることが重要となっています。</p> <p>○ 鳥取自動車道の全線開通など、本市の地域経済を取り巻く環境が変わる中、「第3次鳥取市経済再生・雇用創造戦略」を策定し、市民・企業・経済団体等と連携を図り、戦略的な地域経済の再生に取り組んでいます。</p>
めざす方向	<p>今後、成長が見込まれる食品加工産業、医薬品製造産業、自動車・航空機関連産業等を中心に積極的な企業誘致に取り組むとともに、その受け皿となる工業団地の整備を進めます。また、地元企業の新技術、新製品・商品の開発等を農商工連携や産学官連携等により促進し、力強い工業の振興をめざします。</p>
施策の主な内容	<p>① 企業誘致活動の推進</p> <p>② 新たな工業団地の検討</p> <p>③ 成長産業の振興</p> <p>④ 中小企業・事業者の支援</p> <p>⑤ 経済団体、金融機関、大学、産業支援機関等との連携</p> <p>⑥ 国際経済交流の推進</p>

【分析結果】

		平均値	相対順位	備 考
重要度		4.579	14	全体平均値:4.542
満足度		3.222	24	全体平均値:3.383
ニーズ度		1.357	7	全体平均値:1.159 ※ニーズ度=重要度-満足度
相対評価		Ⅱ	重要度は高いが、満足度の低い項目	評価エリア A 優先して改善を要する項目
		凡例/【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は各属性における全施策中の当該施策の順位		
項目	属性	項目単位	属性単位	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>【ニーズ度分析による優先度】</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>重要度平均</p> <p>ニーズ度平均</p> </div> </div>
男女別	男性	1	3	
	女性	2	8	
年齢別	10歳代	2	6	
	20歳代	6	14	
	30歳代	1	5	
	40歳代	3	7	
	50歳代	4	8	
	60歳代	5	6	
	70歳代以上	7	4	
地域別	鳥取地域	1	6	
	新市域	2	11	
職業別	農林水産業	1	6	
	自営業	9	19	
	会社員・団体職員	3	7	
	公務員・教員	5	9	
	パート・アルバイト	7	8	
	学生	2	8	
	主婦・主夫	4	5	
	無職	6	2	
	その他	8	24	

※優先度は、各調査年度の重要度及びニーズ度の平均値から、当該施策がどのくらい離れているかで設定しています。  
※●はこのたびの調査による評価結果、◆はH25年度調査時の類似施策の評価結果です。

【施策の概要】

現状と課題	<p>○ 中心市街地と新市域の商店街は、郊外型商業施設の出店や消費者ニーズの多様化による販売額の減少、後継者不在による廃業、商業環境としての魅力の低下による空き店舗の増加等が進んでいます。商店街のにぎわい創出や商業振興を図るためには、商業環境としての魅力を高める取組が必要です。</p> <p>○ 鳥取自動車道の全線開通を踏まえ、関西圏・山陽圏等を中心に、販路開拓・拡大を図ることが重要であるとともに、観光等の交流人口の増加による幅広い産業の振興が期待されています。</p> <p>○ インターネット販売など流通システムが変化する中、公設卸売市場や卸売業全般における機能の充実や経営基盤の強化が求められています。</p> <p>○ 起業・創業の取組を促進するため、産業競争力強化法に基づく「創業支援事業計画」の認定を受けるとともに、経済団体や金融機関、産業支援機関等と連携し「起業のまち「鳥取」創造プロジェクト」に取り組んでいます。</p>
めざす方向	<p>「第3次鳥取市経済再生・雇用創造戦略」に基づき、中心市街地及び周辺商業地に求められる機能の充実と魅力の創出に努め、商業の振興を図ります。特に中心市街地においては、まちの魅力とにぎわいの創出を図りながら多様な商業機能の再生・創出に努めます。また、生活・福祉・健康等の生活関連産業の充実を図るとともに、成長が期待できる観光、情報関連等のサービス業については、地場産業の進展につながる誘致を含めた振興を図ります。</p>
施策の主な内容	<p>① 中心市街地等の商業の振興</p> <p>② 物産の振興</p> <p>③ 創業・事業継承の支援</p> <p>④ 卸売業の振興</p> <p>⑤ 観光関連産業の振興</p>

【分析結果】

		平均値	相対順位	備 考	
重要度		4.409	21	全体平均値:4.542	
満足度		3.084	29	全体平均値:3.383	
ニーズ度		1.324	8	全体平均値:1.159 ※ニーズ度=重要度-満足度	
相対評価		IV	重要度・満足度とも低い項目	評価エリア	B 現状維持又はあり方を検討する項目
		ニーズ度		凡例/【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は各属性における全施策中の当該施策の順位	
項目	属性	項目単位	属性単位	<p>【ニーズ度分析による優先度】</p>	
男女別	男性	1	4		
	女性	2	11		
年齢別	10歳代	4	9		
	20歳代	3	5		
	30歳代	1	11		
	40歳代	2	5		
	50歳代	5	8		
	60歳代	6	10		
	70歳代以上	7	12		
地域別	鳥取地域	1	8		
	新市域	2	10		
職業別	農林水産業	4	13		
	自営業	7	1		
	会社員・団体職員	3	6		
	公務員・教員	1	3		
	パート・アルバイト	5	16		
	学生	2	7		
	主婦・主夫	6	17		
	無職	8	8		
	その他	9	25		

※優先度は、各調査年度の重要度及びニーズ度の平均値から、当該施策がどのくらい離れているかで設定しています。  
 ※●はこのたびの調査による評価結果、◆はH25年度調査時の類似施策の評価結果です。

【施策の概要】

現状と課題	<p>○ 農林水産業は、就業者の高齢化等による担い手不足や農産物・水産物・木材等の輸入増加による競争力低下といった問題に直面しており、担い手の育成や不安定な経営環境の改善が求められています。</p> <p>○ 農業は、中山間地域を中心に耕作放棄地が拡大しており、意欲ある担い手への農地の集積や地域が一体となった保全・活用等が求められています。また、農業経営の安定のため、農産物の高付加価値化、特産品化が求められており、併せて消費者に地元農業、農産物への認識と理解を深める一層の取組が必要とされています。</p> <p>○ 林業は、国産材の価格低下に伴う生産意欲の減退等により、スギ等の人工林の荒廃が進むとともに、放置竹林が拡大しています。森林は、木材等の生産機能に限らず、水源かん養や環境保全等の公益的機能をもつことから、間伐を中心とした森林の保育や間伐材の有効活用が求められています。</p> <p>○ 水産業は、魚価の低迷、水産資源の減少や漁場環境の悪化等の悪条件が重なり厳しい経営状況となっていますが、漁業振興に向け、獲る漁業からつくり育てる漁業への取組が進んでいます。</p> <p>○ 本市の一次産業は経営規模が小さく、梨、福部砂丘らっきょう、松葉がになど知名度の高い特産品は限られています。このため、地域の特性を生かした品目に集中した生産・出荷拡大の支援を行い、産地化を進める必要があります。</p> <p>○ 環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)交渉(平成27年10月5日大筋合意)について、関税撤廃等による海外の安価な輸入農産物の流通により、農林水産業に甚大な影響を及ぼすことが懸念されており、緊急的かつ抜本的な対策を講じることが求められています。</p>
めざす方向	<p>農林漁業団体と連携し、経営環境の改善や生産基盤の維持・整備を進めるとともに、担い手の育成・確保を図ります。また、農林水産物の6次産業化、産地化・特産品化を進め、生産拡大と全国への販路拡大を展開し、持続可能な農林水産業の実現をめざします。</p>
施策の主な内容	<p>① 農林水産物の産地化、地域ブランド化の推進と販路拡大</p> <p>② 水田の有効活用と地域独自の産品づくり</p> <p>③ 農林水産業の担い手の育成、新規就農者の確保</p> <p>④ 農林水産業の生産基盤の整備、維持保全</p> <p>⑤ むらづくりによる農村の活性化</p> <p>⑥ 環境にやさしい農業と地産地消の推進</p> <p>⑦ 優良農地の確保・農地の利用集積</p> <p>⑧ 6次産業化の推進</p> <p>⑨ TPP対策の推進</p>

【分析結果】

		平均値	相対順位	備 考	
重要度		4.520	16	全体平均値:4.542	
満足度		3.231	23	全体平均値:3.383	
ニーズ度		1.289	9	全体平均値:1.159 ※ニーズ度=重要度-満足度	
相対評価		IV	重要度・満足度も低い項目	評価エリア	B 現状維持又はあり方を検討する項目
		ニーズ度		凡例/【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は各属性における全施策中の当該施策の順位	
項目	属性	項目単位	属性単位	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>【ニーズ度分析による優先度】</p> </div> <div style="width: 45%; text-align: right;"> <p>重要度平均</p> <p>ニーズ度平均</p> <p>重要度</p> </div> </div>	
男女別	男性	1	6		
	女性	2	14		
年齢別	10歳代	4	15		
	20歳代	2	10		
	30歳代	1	9		
	40歳代	3	13		
	50歳代	7	18		
	60歳代	5	5		
	70歳代以上	6	7		
地域別	鳥取地域	2	11		
	新市域	1	4		
職業別	農林水産業	1	9		
	自営業	9	11		
	会社員・団体職員	2	10		
	公務員・教員	7	14		
	パート・アルバイト	5	9		
	学生	3	14		
	主婦・主夫	8	18		
	無職	4	4		
その他	6	12			

※優先度は、各調査年度の重要度及びニーズ度の平均値から、当該施策がどのくらい離れているかで設定しています。  
 ※●はこのたびの調査による評価結果、◆はH25年度調査時の類似施策の評価結果です。

【施策の概要】

現状と課題	<p>○ 国内外の他の観光地に負けない競争力の高い観光地づくりを行うため、観光資源の磨き上げや自然、歴史・文化、イベント等の掘り起こしが必要です。</p> <p>○ 「鳥取砂丘砂の美術館」は、鳥取砂丘を舞台に世界でも類を見ない精巧な「砂像」を制作・常設展示する唯一の美術館であり、美術館のブランドと安定的な管理運営を確立することが重要です。</p> <p>○ ユネスコ世界ジオパーク 認定の鳥取砂丘を含む山陰海岸ジオパークは、今後も官民が一体となって、自然環境の保護・保全を行うとともに、観光など地域産業に活用していく持続的な取組が必要です。</p> <p>○ 高速交通ネットワークの整備進展による日帰り圏の拡大に対応するため、広域連携による観光客の受入体制の整備が必要です。</p> <p>○ 観光産業は裾野が広く、地域経済への波及効果が高い産業であり、観光産業を基幹産業として振興するためには、官民が一体となった取組が必要です。</p> <p>○ 近年、旅行形態や旅の目的、観光のあり方が多様化しています。滞在型・通年型の観光地への転換や教育旅行、グリーンツーリズム、スポーツツーリズム、ヘルスツーリズム など新たな観光ニーズへの対応が必要です。</p> <p>○ ビジットジャパン の取組により増加する訪日外国人観光客の誘客対応として、海外へ向けた本市の知名度の向上や多言語に対応した観光案内・環境整備を確立させる必要があります。</p>
めざす方向	<p>旅行形態や旅の目的、旅行者の国籍・年齢・性別・趣味趣向など、多様なニーズに対応した観光ルート・観光商品の開発や広域観光連携を進めることにより、本市や周辺エリアの周遊、滞在を促進し、国内外から観光客が集う「観光都市鳥取」をめざします。</p>
施策の主な内容	<p>① 山陰海岸ジオパークを生かした取組の推進</p> <p>② 砂の美術館の充実</p> <p>③ 鳥取砂丘の保護・保全及び活用</p> <p>④ 地域の観光資源の磨き上げ</p> <p>⑤ 魅力ある観光拠点の再整備</p> <p>⑥ 観光関連産業の育成</p> <p>⑦ 広域観光連携の推進</p> <p>⑧ 国際観光の推進</p>

【分析結果】

		平均値	相対順位	備考
重要度		4.589	13	全体平均値:4.542
満足度		3.646	3	全体平均値:3.383
ニーズ度		0.943	25	全体平均値:1.159 ※ニーズ度=重要度-満足度
相対評価	I	重要度・満足度も高い項目		評価エリア C 現在の水準を維持する項目
		ニーズ度		
		凡例/【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は各属性における全施策中の当該施策の順位		
項目	属性	項目単位	属性単位	
男女別	男性	2	21	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>【ニーズ度分析による優先度】</p> <p>重要度平均</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">評価エリア:B 現状維持又はあり方を検討</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">評価エリア:A 優先して改善を要する</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">評価エリア:D 改善の必要性は低い</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">評価エリア:C 現在の水準を維持</div> </div> <div style="width: 45%; text-align: right;"> <p>ニーズ度 ↑</p> <p>重要度 →</p> </div> </div>
	女性	1	25	
年齢別	10歳代	1	11	
	20歳代	4	25	
	30歳代	2	24	
	40歳代	3	20	
	50歳代	5	26	
	60歳代	6	24	
	70歳代以上	7	27	
地域別	鳥取地域	1	23	
	新市域	2	27	
職業別	農林水産業	6	29	
	自営業	7	17	
	会社員・団体職員	2	23	
	公務員・教員	9	27	
	パート・アルバイト	3	23	
	学生	1	10	
	主婦・主夫	5	25	
	無職	8	26	
その他	4	23		

※優先度は、各調査年度の重要度及びニーズ度の平均値から、当該施策がどのくらい離れているかで設定しています。  
※●はこのたびの調査による評価結果、◆はH25年度調査時の類似施策の評価結果です。

【施策の概要】

現状と課題	<p>○ 本市の魅力を経営的に全国へ発信していくため、平成26年7月から「鳥取市らしさ」を表現したイメージづくりとその発信を行っています。</p> <p>○ 鳥取市のすごいネタを集め、「食」、「人」、「もの」、「場所」、「暮らし」、「行事」の6つのカテゴリーに分け、メディア等を通して全国に情報発信しています。</p> <p>○ 地域間の競争が激化する中、「選ばれる地域」となるためには、地域全体の価値の向上や、地域そのものに対する信頼を市内外から獲得する必要があります。</p>
めざす方向	<p>本市の魅力ある地域資源を積極的に情報発信するなど、知名度の向上をめざしたまちづくりを進めるため、「鳥取市シティセールス戦略プラン」に基づき、「2020年東京オリンピック・パラリンピック」を見据えた、グローバルな視野でのプロモーション展開を進めるとともに、観光・移住定住等の促進に取り組みます。</p>
施策の主な内容	<p>① 戦略的な情報発信</p> <p>② 「すごい！鳥取市」などイメージ戦略による知名度アップ大作戦の積極展開</p>

【分析結果】

		平均値	相対順位	備 考	
重要度		4.393	22	全体平均値:4.542	
満足度		3.526	8	全体平均値:3.383	
ニーズ度		0.867	27	全体平均値:1.159 ※ニーズ度=重要度-満足度	
相対評価		Ⅲ	重要度は低いが、満足度の高い項目	評価エリア	D 改善の必要性が低い項目
		ニーズ度		凡例/【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は各属性における全施策中の当該施策の順位	
項目	属性	項目単位	属性単位	<p>【ニーズ度分析による優先度】</p>	
男女別	男性	2	26		
	女性	1	27		
年齢別	10歳代	2	22		
	20歳代	7	30		
	30歳代	1	26		
	40歳代	3	22		
	50歳代	6	28		
	60歳代	4	22		
	70歳代以上	5	28		
地域別	鳥取地域	1	27		
	新市域	2	25		
職業別	農林水産業	3	26		
	自営業	7	19		
	会社員・団体職員	2	26		
	公務員・教員	9	29		
	パート・アルバイト	4	26		
	学生	1	21		
	主婦・主夫	5	24		
	無職	8	28		
	その他	6	29		

※優先度は、各調査年度の重要度及びニーズ度の平均値から、当該施策がどのくらい離れているかで設定しています。  
 ※●はこのたびの調査による評価結果、◆はH25年度調査時の類似施策の評価結果です。

【施策の概要】

現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 少子高齢化、過疎化、生活様式の多様化等により、隣近所同士のつきあいが少なくなり、「ふれあい」や「助け合いの心」が薄れています。</li> <li>○ 各自治会(町内会)の担い手の高齢化、加入率の低下等により、地域で支え合う活動や伝統行事の継承が困難になるなど、地域力の低下が懸念されています。</li> <li>○ 61地区公民館単位のまちづくり協議会では、自分たちの暮らす地域を住み良い地域にしようとするコミュニティ活動を展開しています。</li> <li>○ まちづくりの拠点施設である地区公民館の耐震化を進めています。</li> <li>○ それぞれの地域の特性を生かした活動をより自主的・効率的に行えるよう、地区公民館のあり方について見直す必要があります。</li> <li>○ 市民や市が、それぞれの役割と責任をもち、鳥取市らしい活力あるまちづくりを進めていくため、今後もさらなる協働意識や事業の定着に向け、市民の連帯感と自治意識の向上を図る必要があります。</li> </ul>
めざす方向	多様化する市民ニーズに対応するため、市民が主体の協働のまちづくりを展開し、地域課題の解決に向けて知恵を出し合いながら、市民が愛着と誇りをもてるまちづくりを推進します。
施策の主な内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 参画と協働のまちづくりの展開</li> <li>② 地域の魅力・活力づくり</li> <li>③ 地域で活躍する人材の育成・支援</li> <li>④ コミュニティ活動の支援</li> </ul>

【分析結果】

		平均値	相対順位	備 考	
重要度		4.282	26	全体平均値: 4.542	
満足度		3.335	20	全体平均値: 3.383	
ニーズ度		0.947	24	全体平均値: 1.159 ※ニーズ度=重要度-満足度	
相対評価		IV	重要度・満足度とも低い項目		評価エリア D 改善の必要性が低い項目
		ニーズ度		凡例/【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は各属性における全施策中の当該施策の順位	
項目	属性	項目単位	属性単位	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>【ニーズ度分析による優先度】</p> </div> <div style="width: 45%; text-align: right;"> <p>重要度</p> </div> </div> <p>※優先度は、各調査年度の重要度及びニーズ度の平均値から、当該施策がどのくらい離れているかで設定しています。 ※●はこのたびの調査による評価結果、◆はH25年度調査時の類似施策の評価結果です。</p>	
男女別	男性	2	23		
	女性	1	24		
年齢別	10歳代	3	23		
	20歳代	1	11		
	30歳代	2	25		
	40歳代	4	27		
	50歳代	6	25		
	60歳代	7	26		
	70歳代以上	5	23		
地域別	鳥取地域	1	25		
	新市域	2	24		
職業別	農林水産業	2	21		
	自営業	7	18		
	会社員・団体職員	4	25		
	公務員・教員	8	24		
	パート・アルバイト	5	24		
	学生	1	21		
	主婦・主夫	6	27		
	無職	9	22		
	その他	3	20		



【施策の概要】

現状と課題	<p>○ 人口減少の抑制に向け、「鳥取らしさ」を生かしたまちづくりを推進することを目的に、移住定住の促進を図っています。</p> <p>○ 平成18年に「鳥取市定住促進・Uターン相談支援窓口」を開設し、相談体制を整えるとともに、ホームページや東京・大阪での相談会等を通じて、住宅取得・改修に対する助成や空き家の紹介等の支援策を発信しています。</p> <p>○ 「スローライフ」や「田舎暮らし」などライフスタイルに対するニーズが多様化する中、地域の空き家や農地等を生かし、本市に移り住んでみたいと思える地域づくりを進める必要があります。</p> <p>○ 県外からのUターン等の移住希望者に対し、多様なニーズに応えられる相談体制や田舎暮らしが体験できる環境の充実が必要です。</p>
めざす方向	<p>住み続けたいと思える「鳥取らしさ」を生かしたまちづくりや、移住希望者がここに住みたいと思えるまちづくりを進めるとともに、情報発信・相談体制・受入体制を充実し、移住定住の促進や自然・歴史など地域資源を生かした体験・交流を進めます。</p>
施策の主な内容	<p>① 人材誘致・ふるさと回帰の促進</p> <p>② 田舎暮らし環境の充実</p> <p>③ グリーンツーリズムの促進</p>

【分析結果】

		平均値	相対順位	備 考	
重要度		4.453	17	全体平均値:4.542	
満足度		3.364	17	全体平均値:3.383	
ニーズ度		1.089	19	全体平均値:1.159 ※ニーズ度=重要度-満足度	
相対評価		IV	重要度・満足度も低い項目		評価エリア D 改善の必要性が低い項目
		ニーズ度		凡例/【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は各属性における全施策中の当該施策の順位	
項目	属性	項目単位	属性単位	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>【ニーズ度分析による優先度】</p> </div> <div style="width: 45%; text-align: right;"> <p>重要度平均</p> <p>ニーズ度平均</p> <p>重要度</p> </div> </div>	
男女別	男性	2	20		
	女性	1	19		
年齢別	10歳代	1	8		
	20歳代	7	27		
	30歳代	2	19		
	40歳代	4	21		
	50歳代	5	21		
	60歳代	6	19		
	70歳代以上	3	8		
地域別	鳥取地域	1	19		
	新市域	2	16		
職業別	農林水産業	1	9		
	自営業	9	30		
	会社員・団体職員	3	18		
	公務員・教員	8	25		
	パート・アルバイト	4	13		
	学生	2	8		
	主婦・主夫	6	23		
	無職	5	12		
	その他	7	26		

※優先度は、各調査年度の重要度及びニーズ度の平均値から、当該施策がどのくらい離れているかで設定しています。  
 ※●はこのたびの調査による評価結果、◆はH25年度調査時の類似施策の評価結果です。

【施策の概要】

現状と課題	<p>○ 本市域のほとんどを占める中山間地域は、豊かな自然や景観、歴史・文化に育まれており、地域住民の生活の場としてのみならず、土地の保全、食料の供給、水源のかん養、地球温暖化の防止など多面的・公益的な機能を有しており、自然や食等を大切にし、物質的な豊かさよりも心の豊かさを大切にする価値観や生活様式を育む場でもあります。</p> <p>○ 中山間地域では、居住人口の減少や高齢化・過疎化、空き家の増加等が進行しており、日常生活における利便性の低下や緊急時における対応への不安感が課題となっています。</p> <p>○ 平成22年に「暮らしたい、暮らしてみたいふるさと 鳥取」を目標とする「鳥取市中山間地域対策強化方針」を、平成26年には新市域の「個性」を生かしたまちづくりをめざす「鳥取市新市域振興ビジョン」を策定し、少子高齢化の進む中山間地域においても、市民の安全・安心な暮らしや快適な生活が維持できるよう各種事業に取り組んでいます。</p> <p>○ 本市の安定的な発展には、中山間地域の恵みを十分享受し、資源や特性を生かせるまちづくりの推進が大切であり、これまで以上に市民と行政が知恵を出し合うなど、協働により、しなやかさと力強さを併せもつ地域づくりが必要です。</p>
めざす方向	中山間地域に暮らす人々の安全・安心な暮らしを確保し、農林水産業をはじめとする産業の振興、自然の恵みや伝統文化の保護・伝承、地域間交流の促進等による地域の維持・活性化に努め、魅力あふれる中山間地域の振興を図ります。
施策の主な内容	<p>① 安全・安心な暮らしの確保</p> <p>② 地場産業の活性化と雇用の確保</p> <p>③ 魅力ある地域づくり・ひとづくりの推進</p> <p>④ 交流による活性化と移住定住の促進</p>

【分析結果】

		平均値	相対順位	備 考	
重要度		4.185	29	全体平均値: 4.542	
満足度		3.063	30	全体平均値: 3.383	
ニーズ度		1.122	17	全体平均値: 1.159 ※ニーズ度=重要度-満足度	
相対評価		IV	重要度・満足度も低い項目		評価エリア D 改善の必要性が低い項目
		ニーズ度		凡例/【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は各属性における全施策中の当該施策の順位	
項目	属性	項目単位	属性単位	<p>【ニーズ度分析による優先度】</p>	
男女別	男性	2	16		
	女性	1	18		
年齢別	10歳代	2	18		
	20歳代	6	21		
	30歳代	1	15		
	40歳代	7	25		
	50歳代	4	19		
	60歳代	5	12		
	70歳代以上	3	9		
地域別	鳥取地域	2	21		
	新市域	1	7		
職業別	農林水産業	1	6		
	自営業	9	9		
	会社員・団体職員	2	17		
	公務員・教員	7	18		
	パート・アルバイト	4	18		
	学生	3	18		
	主婦・主夫	6	16		
	無職	8	17		
	その他	5	15		

※優先度は、各調査年度の重要度及びニーズ度の平均値から、当該施策がどのくらい離れているかで設定しています。  
 ※●はこのたびの調査による評価結果、◆はH25年度調査時の類似施策の評価結果です。

【施策の概要】

現状と課題	<p>○ 本市の中心市街地は、鳥取県東部地域最大の交通の要衝である鳥取駅や鳥取城跡等の歴史・文化資源を有し、多様な機能が集積した経済・交流の中心ですが、一方では居住人口や歩行者通行量の減少、空き家・空き店舗の増加等が進展しており、魅力とにぎわいの創出が課題となっています。</p> <p>○ 平成25年3月に「第2期鳥取市中心市街地活性化基本計画」の内閣総理大臣認定を受け、「街なか居住の推進」と「にぎわいの創出」を目標に、中心市街地活性化協議会や関係商店街等と連携しながら各種事業に取り組んでいます。</p>
めざす方向	<p>中心市街地と周辺地域の生活拠点が連携した魅力ある多極ネットワーク型のコンパクトな都市づくりを進める中で、都市機能と居住の集積を生かした魅力とにぎわいのある中心市街地への再生を図ります。</p>
施策の主な内容	<p>① 街なか居住の推進                  ② 商業の活性化                  ③ 鳥取駅周辺のにぎわいの創出                  ④ 鳥取城跡周辺の観光交流の促進                  ⑤ 遊休不動産を活用したまちづくりの推進                  ⑥ 魅力あるまちづくりの推進</p>

【分析結果】

		平均値	相対順位	備 考	
重要度		4.384	23	全体平均値:4.542	
満足度		3.121	27	全体平均値:3.383	
ニーズ度		1.263	11	全体平均値:1.159 ※ニーズ度=重要度-満足度	
相対評価		IV	重要度・満足度も低い項目	評価エリア	B 現状維持又はあり方を検討する項目
		ニーズ度		凡例/【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は各属性における全施策中の当該施策の順位	
項目	属性	項目単位	属性単位	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>【ニーズ度分析による優先度】</p> </div> <div style="width: 5%; text-align: center;"> <p>ニーズ度</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>重要度</p> </div> </div>	
男女別	男性	1	10		
	女性	2	12		
年齢別	10歳代	2	6		
	20歳代	4	9		
	30歳代	3	17		
	40歳代	1	3		
	50歳代	5	10		
	60歳代	7	18		
	70歳代以上	6	15		
地域別	鳥取地域	1	9		
	新市域	2	19		
職業別	農林水産業	4	16		
	自営業	8	7		
	会社員・団体職員	2	12		
	公務員・教員	5	6		
	パート・アルバイト	6	7		
	学生	1	5		
	主婦・主夫	7	14		
	無職	9	19		
	その他	3	6		

※優先度は、各調査年度の重要度及びニーズ度の平均値から、当該施策がどのくらい離れているかで設定しています。  
 ※●はこのたびの調査による評価結果、◆はH25年度調査時の類似施策の評価結果です。

【施策の概要】

現状と課題	<p>○ 平成27年3月末現在、鳥取市内には、人口の0.58パーセントにあたる1,121人の外国人住民が生活しています。国籍別では、中国が最も多く、次いで、韓国・朝鮮、フィリピン、ベトナム、タイ、米国の順となり、すべての国籍数は46か国となっています。</p> <p>○ グローバル化の進展に伴い、外国人労働者や留学生が増加していくものと予想されます。文化や生活環境の違いを互いに理解し合い、外国人にとっても生活しやすく訪れやすい都市環境をつくる必要があります。</p>
めざす方向	<p>「鳥取市国際交流指針」に基づき、姉妹都市や交流都市を基軸とした交流を進め、市民の国際意識の高揚や相互理解の増進を図り、外国人が暮らしやすく、訪れる人が親しみやすい、多様な文化が共生した活力のあるまち、世界に開かれたまちとなることをめざします。</p>
施策の主な内容	<p>① 市民との連携による多様な国際交流の展開</p> <p>② 外国人が暮らしやすく訪れやすい環境づくり</p> <p>③ 国際経済・観光交流の推進</p>

【分析結果】

		平均値	相対順位	備 考	
重要度		3.870	30	全体平均値:4.542	
満足度		3.103	28	全体平均値:3.383	
ニーズ度		0.768	29	全体平均値:1.159 ※ニーズ度=重要度-満足度	
相対評価		IV	重要度・満足度とも低い項目	評価エリア	D 改善の必要性が低い項目
		ニーズ度		凡例/【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は各属性における全施策中の当該施策の順位	
項目	属性	項目単位	属性単位	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>【ニーズ度分析による優先度】</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>重要度平均</p> <p>ニーズ度平均</p> </div> </div> <p>評価エリア:B 現状維持又はあり方を検討</p> <p>評価エリア:A 優先して改善を要する</p> <p>評価エリア:D 改善の必要性は低い</p> <p>評価エリア:C 現在の水準を維持</p>	
男女別	男性	2	30		
	女性	1	29		
年齢別	10歳代	1	17		
	20歳代	6	29		
	30歳代	2	28		
	40歳代	3	30		
	50歳代	7	30		
	60歳代	4	27		
	70歳代以上	5	29		
地域別	鳥取地域	1	30		
	新市域	2	29		
職業別	農林水産業	2	23		
	自営業	8	27		
	会社員・団体職員	5	30		
	公務員・教員	9	30		
	パート・アルバイト	6	29		
	学生	1	23		
	主婦・主夫	4	28		
	無職	7	29		
	その他	3	19		

※優先度は、各調査年度の重要度及びニーズ度の平均値から、当該施策がどのくらい離れているかで設定しています。  
 ※●はこのたびの調査による評価結果、◆はH25年度調査時の類似施策の評価結果です。

【施策の概要】

現状と課題	<p>○ 文化芸術の振興は、市民の創造性と豊かな心を育み、地域への誇りと連帯感やまちの活力と魅力を高めていくことにつながります。さらに、文化施設の集客力を高める取組は、市民の文化芸術に親しむ機会の創出や交流人口の増加につながります。</p> <p>○ 「鳥取市民美術展」、「ことり舎」、「鳥の劇場」など、市民の自主的な文化芸術活動の活発化を図っています。</p> <p>○ 今後も市民が身近に文化芸術に親しみ、自ら参加・創造できる環境づくりを進めるとともに、郷土の伝統芸能や文化団体等の文化芸術活動の保存、継承と発展を図ることが必要です。</p> <p>○ 文化芸術活動の拠点として「県立美術館」の本市での建設に向けて、官民一体となって取組を進めています。</p>
めざす方向	<p>本市特有の自然の豊かさなど地域的な特徴と、これまで長く培われてきた伝統など時代的な特徴を踏まえ、文化芸術を振興することにより、ふるさとを愛し、次代を担うひとづくりを進めるとともに、特色あるまちづくりを推進します。</p>
施策の主な内容	<p>① 市民の文化芸術活動の推進</p> <p>② 伝統文化の保存・継承</p> <p>③ 文化芸術の創造、発表・鑑賞機会の充実</p>

【分析結果】

		平均値	相対順位	備 考
重要度		4.248	27	全体平均値:4.542
満足度		3.357	19	全体平均値:3.383
ニーズ度		0.891	26	全体平均値:1.159 ※ニーズ度=重要度-満足度
相対評価	IV	重要度・満足度とも低い項目		評価エリア D 改善の必要性が低い項目
		ニーズ度		凡例【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は各属性における全施策中の当該施策の順位
項目	属性	項目単位	属性単位	<p>【ニーズ度分析による優先度】</p> <p>重要度平均</p> <p>ニーズ度平均</p> <p>評価エリア:B 現状維持又はあり方を検討</p> <p>評価エリア:A 優先して改善を要する</p> <p>評価エリア:D 改善の必要性は低い</p> <p>評価エリア:C 現在の水準を維持</p> <p>重要度</p>
男女別	男性	2	27	
	女性	1	26	
年齢別	10歳代	1	23	
	20歳代	2	23	
	30歳代	4	29	
	40歳代	3	26	
	50歳代	5	24	
	60歳代	7	25	
	70歳代以上	6	21	
地域別	鳥取地域	1	26	
	新市域	2	26	
職業別	農林水産業	3	28	
	自営業	9	22	
	会社員・団体職員	4	28	
	公務員・教員	7	21	
	パート・アルバイト	2	25	
	学生	1	26	
	主婦・主夫	5	26	
	無職	8	25	
	その他	6	28	

※優先度は、各調査年度の重要度及びニーズ度の平均値から、当該施策がどのくらい離れているかで設定しています。  
※●はこのたびの調査による評価結果、◆はH25年度調査時の類似施策の評価結果です。

【施策の概要】

現状と課題	<p>○ 本市は、恵まれた自然環境のもとで、長い歴史と伝統文化に支えられ、山陰地方を代表する都市として発展したまちであり、史跡鳥取城跡附(とっとりじょうあとつけたり)太(たい)閤(こう)ヶ(が)平(なる)・史跡青谷上(かみ)寺地(じち)遺跡(国史跡)、観音院(かんのいん)庭園(ていえん)(国名勝)、仁風閣・旧美敷(みたに)水源地水道施設(国重要文化財)をはじめ、民俗文化財や美術工芸品など、数多くの文化財が所在しています。</p> <p>○ 市民が親しみをもって文化財に接し、郷土の歴史と文化への理解を深めることは、市民の郷土愛や誇りを醸成するとともに、文化交流が促進され、本市の魅力や活力の創造につながります。</p> <p>○ 日本遺産制度の創設など文化財の活用の機運が高まっており、地域の資産としての文化財の適切な保存・整備と管理・活用が求められています。</p> <p>○ 文化財とその周辺の歴史・文化を生かしたまちづくりは、市民をはじめ観光客など来訪者の魅力となり、交流人口の増加による地域の活性化が期待されます。</p> <p>○ 市民一人ひとりが先人から継承した多くの貴重な文化財の重要性を認識し、地域が一体となって積極的に保護し、活用を推進しつつ後世に引き継ぐことが必要です。</p>
めざす方向	<p>歴史と文化の薫りに満ちた活力のあるまちづくりを進め、文化財を愛護する精神の醸成を図るとともに、保護と活用により郷土の誇りである文化財を次代へ継承します。</p>
施策の主な内容	<p>① 文化財の保護と整備 ② 文化財保護意識の醸成 ③ 文化施設の整備</p>

【分析結果】

		平均値	相対順位	備 考	
重要度		4.218	28	全体平均値:4.542	
満足度		3.411	13	全体平均値:3.383	
ニーズ度		0.807	28	全体平均値:1.159 ※ニーズ度=重要度-満足度	
相対評価		Ⅲ	重要度は低いが、満足度の高い項目	評価エリア	D 改善の必要性が低い項目
		ニーズ度		凡例/【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は各属性における全施策中の当該施策の順位	
項目	属性	項目単位	属性単位	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>【ニーズ度分析による優先度】</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>重要度平均</p> <p>ニーズ度平均</p> </div> </div> <p>評価エリア:A 優先して改善を要する</p> <p>評価エリア:B 現状維持又はあり方を検討</p> <p>評価エリア:C 現在の水準を維持</p> <p>評価エリア:D 改善の必要性は低い</p>	
男女別	男性	2	29		
男女別	女性	1	28		
年齢別	10歳代	1	29		
	20歳代	4	28		
	30歳代	3	30		
	40歳代	2	29		
	50歳代	5	27		
	60歳代	7	29		
	70歳代以上	6	26		
地域別	鳥取地域	1	29		
	新市域	2	28		
職業別	農林水産業	3	27		
	自営業	5	14		
	会社員・団体職員	1	27		
	公務員・教員	9	28		
	パート・アルバイト	6	30		
	学生	2	29		
	主婦・主夫	8	30		
	無職	7	27		
その他	4	22			

※優先度は、各調査年度の重要度及びニーズ度の平均値から、当該施策がどのくらい離れているかで設定しています。  
※●はこのたびの調査による評価結果、◆はH25年度調査時の類似施策の評価結果です。

【施策の概要】

現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大規模化・複雑化する自然災害や新たな危機に対し、迅速かつ的確に対応するため、危機管理体制の強化が求められています。</li> <li>○ 住民一人ひとりの防災意識の高揚や防災知識の習得など、地域住民が主体となった防災に対する取組が不可欠です。</li> <li>○ 防災行政無線や消防団設備・資機材等の計画的で効率的な配備・更新が必要です。</li> <li>○ 災害危険区域からの住宅移転や市有建築物の耐震診断・改修の促進など、災害に強いまちづくりが求められています。</li> </ul>
めざす方向	頻発する自然災害から生命を守り、被害を軽減していくため、「鳥取市地域防災計画」に基づき、防災・減災体制を強化するとともに、「自助」「共助」「公助」が連携し、一体となって機能する災害に強いまちづくりを進めます。
施策の主な内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 市役所新本庁舎の建設</li> <li>② 防災の拠点としての総合支所の機能強化</li> <li>③ 防災意識の高揚</li> <li>④ 自主防災会の支援</li> <li>⑤ 防災設備等の整備</li> <li>⑥ 危機管理体制の強化</li> <li>⑦ 災害に強いまちづくりの推進</li> <li>⑧ 避難行動要支援者支援制度の普及促進</li> <li>⑨ 国民保護体制の整備</li> </ul>

【分析結果】

		平均値	相対順位	備 考	
重要度		4.790	7	全体平均値: 4.542	
満足度		3.531	6	全体平均値: 3.383	
ニーズ度		1.259	12	全体平均値: 1.159 ※ニーズ度=重要度-満足度	
相対評価		I	重要度・満足度とも高い項目	評価エリア	A 優先して改善を要する項目
		ニーズ度		凡例 / 【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は各属性における全施策中の当該施策の順位	
項目	属性	項目単位	属性単位	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>【ニーズ度分析による優先度】</p> </div> <div style="width: 45%; text-align: right;"> <p>重要度平均</p> <p>ニーズ度平均</p> <p>重要度</p> </div> </div> <p>※優先度は、各調査年度の重要度及びニーズ度の平均値から、当該施策がどのくらい離れているかで設定しています。                  ※●はこのたびの調査による評価結果、◆はH25年度調査時の類似施策の評価結果です。</p>	
男女別	男性	2	14		
	女性	1	7		
年齢別	10歳代	1	5		
	20歳代	5	15		
	30歳代	2	12		
	40歳代	3	10		
	50歳代	4	15		
	60歳代	7	13		
	70歳代以上	6	5		
地域別	鳥取地域	2	13		
	新市域	1	6		
職業別	農林水産業	2	11		
	自営業	9	14		
	会社員・団体職員	3	14		
	公務員・教員	5	13		
	パート・アルバイト	4	10		
	学生	1	6		
	主婦・主夫	6	10		
	無職	8	10		
	その他	7	16		

【施策の概要】

現状と課題	<p>○ 防犯に対する啓発や防犯設備の設置など、防犯体制整備等の一層の推進が必要です。</p> <p>○ 本市は、「交通安全都市宣言(昭和37年)」、「飲酒運転追放都市宣言(昭和47年)」、「暴走族追放都市宣言(昭和56年)」を行い、市民とともに交通安全の取組を推進しています。</p> <p>○ 高齢者の交通安全意識の一層の高揚を図るとともに、子どもや障がいのある人も含めた交通弱者を交通事故から守る取組を進める必要があります。</p>
めざす方向	警察、国、県など関係機関との連携を強化しながら、地域における防犯体制の充実や、交通安全活動の推進による安全・安心なまちをめざします。
施策の主な内容	<p>① 自主防犯活動団体の支援</p> <p>② 交通安全活動の促進</p> <p>③ 防犯・交通安全施設の整備</p>

【分析結果】

		平均値	相対順位	備 考	
重要度		4.862	4	全体平均値:4.542	
満足度		3.700	2	全体平均値:3.383	
ニーズ度		1.161	14	全体平均値:1.159 ※ニーズ度=重要度-満足度	
相対評価		I	重要度・満足度も高い項目	評価エリア	A 優先して改善を要する項目
		ニーズ度		凡例/【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は各属性における全施策中の当該施策の順位	
項目	属性	項目単位	属性単位	<p>【ニーズ度分析による優先度】</p> <p>重要度平均</p> <p>ニーズ度平均</p> <p>評価エリア:B 現状維持又はあり方を検討</p> <p>評価エリア:A 優先して改善を要する</p> <p>評価エリア:D 改善の必要性は低い</p> <p>評価エリア:C 現在の水準を維持</p> <p>重要度</p> <p>ニーズ度</p>	
男女別	男性	2	15		
	女性	1	13		
年齢別	10歳代	4	20		
	20歳代	3	13		
	30歳代	1	14		
	40歳代	2	8		
	50歳代	5	17		
	60歳代	6	14		
	70歳代以上	7	22		
地域別	鳥取地域	2	16		
	新市域	1	13		
職業別	農林水産業	2	18		
	自営業	9	26		
	会社員・団体職員	1	11		
	公務員・教員	3	11		
	パート・アルバイト	6	22		
	学生	4	19		
	主婦・主夫	7	20		
	無職	8	13		
	その他	5	18		

※優先度は、各調査年度の重要度及びニーズ度の平均値から、当該施策がどのくらい離れているかで設定しています。  
 ※●はこのたびの調査による評価結果、◆はH25年度調査時の類似施策の評価結果です。



【施策の概要】

現状と課題	<p>○ グローバル化や高度情報化の急速な進展など社会経済情勢の変化に伴い、消費生活が多様化・複雑化する中、地域とのつながりの希薄化を背景に、消費者被害も多様化・深刻化しています。</p> <p>○ 市民の消費生活における被害の実態を適正に把握し、新たな被害の未然防止や拡大防止等により、その安全を確保することが重要です。</p> <p>○ 国、県、関係機関との連携を図り、市民が身近にいつでも消費生活に関する相談ができる体制を整備するとともに、被害等を防止するための情報提供、啓発活動の充実が必要です。</p>
めざす方向	「鳥取市消費生活センターの組織及び運営等に関する条例」を制定し、市民の消費生活における被害相談や情報収集等を行う体制を充実し、市民が安全・安心のもと豊かな消費生活を営むことができる社会の実現をめざします。
施策の主な内容	<p>① 消費者行政の体制強化と充実</p> <p>② 消費生活に関する情報提供</p>

【分析結果】

		平均値	相対順位	備 考	
重要度		4.420	20	全体平均値:4.542	
満足度		3.383	15	全体平均値:3.383	
ニーズ度		1.037	22	全体平均値:1.159 ※ニーズ度=重要度-満足度	
相対評価		Ⅲ	重要度は低いが、満足度の高い項目	評価エリア	D 改善の必要性が低い項目
		ニーズ度		凡例/【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は各属性における全施策中の当該施策の順位	
項目	属性	項目単位	属性単位	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>【ニーズ度分析による優先度】</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>重要度平均</p> <p>ニーズ度平均</p> </div> </div> <p>評価エリア:A 優先して改善を要する</p> <p>評価エリア:B 現状維持又はあり方を検討</p> <p>評価エリア:C 現在の水準を維持</p> <p>評価エリア:D 改善の必要性は低い</p>	
男女別	男性	2	24		
	女性	1	20		
年齢別	10歳代	3	19		
	20歳代	4	20		
	30歳代	2	21		
	40歳代	1	15		
	50歳代	5	22		
	60歳代	7	21		
	70歳代以上	6	19		
地域別	鳥取地域	1	20		
	新市域	2	22		
職業別	農林水産業	5	25		
	自営業	9	24		
	会社員・団体職員	3	21		
	公務員・教員	8	23		
	パート・アルバイト	4	19		
	学生	1	19		
	主婦・主夫	6	21		
	無職	7	16		
	その他	2	13		

※優先度は、各調査年度の重要度及びニーズ度の平均値から、当該施策がどのくらい離れているかで設定しています。  
 ※●はこのたびの調査による評価結果、◆はH25年度調査時の類似施策の評価結果です。

【施策の概要】

現状と課題	<p>○ 少子高齢化、人口減少社会が進展する中で、持続的に行政サービスや生活サービスを提供できる仕組みを構築するには、中心市街地と日常生活を支える地域生活拠点等が公共交通で有機的に結ばれ、身近なエリアで歩いて暮らせる生活が可能な「多極ネットワーク型」のコンパクトな都市構造に転換していく必要があります。</p> <p>○ 自然とのふれあいやゆとりを求める市民ニーズが高まる中、身近な生活環境における緑や憩いの空間の整備が必要です。</p> <p>○ 高速道路ネットワークは、地域活動や経済活動の重要な基盤であり、市民生活を豊かで快適にします。山陰自動車道・山陰近畿自動車道等の未整備区間の早期整備が望まれます。</p> <p>○ いつでも安全な水道水を安定して供給するために、上水道の施設の適正な維持管理、さらには老朽化した施設の更新や耐震化を計画的に進める必要があります。</p> <p>○ 下水道は、公衆衛生の向上や生活環境の改善など市民生活を快適にします。未普及地域の早期解消、浸水・地震等の災害対策を計画的に進め、適正な維持管理や機能向上に努める必要があります。</p>
めざす方向	<p>多極ネットワーク型のコンパクトなまちづくりにつながる道路、上下水道、住宅、公園緑地など必要な社会資本を適切に整備し、持続的に安全で快適に暮らせる市民生活の実現をめざします。</p>
施策の主な内容	<p>① 多極ネットワーク型コンパクトシティの推進</p> <p>② 緑豊かなまちづくりの推進</p> <p>③ 高速道路ネットワークの整備</p> <p>④ 幹線道路ネットワークと生活道路環境の整備</p> <p>⑤ 上水道の整備</p> <p>⑥ 下水道等の整備</p> <p>⑦ 住環境の整備</p> <p>⑧ バリアフリー化の推進</p>

【分析結果】

		平均値	相対順位	備 考	
重要度		4.764	9	全体平均値: 4.542	
満足度		3.547	5	全体平均値: 3.383	
ニーズ度		1.217	13	全体平均値: 1.159 ※ニーズ度=重要度-満足度	
相対評価		I	重要度・満足度とも高い項目	評価エリア	A 優先して改善を要する項目
		ニーズ度		凡例/【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は各属性における全施策中の当該施策の順位	
項目	属性	項目単位	属性単位	<p>【ニーズ度分析による優先度】</p>	
男女別	男性	2	12		
	女性	1	10		
年齢別	10歳代	6	28		
	20歳代	2	8		
	30歳代	1	18		
	40歳代	4	17		
	50歳代	3	6		
	60歳代	5	9		
	70歳代以上	7	14		
地域別	鳥取地域	1	12		
	新市域	2	14		
職業別	農林水産業	2	14		
	自営業	9	10		
	会社員・団体職員	4	16		
	公務員・教員	1	4		
	パート・アルバイト	3	6		
	学生	7	27		
	主婦・主夫	6	12		
	無職	8	11		
	その他	5	11		

※優先度は、各調査年度の重要度及びニーズ度の平均値から、当該施策がどのくらい離れているかで設定しています。  
 ※●はこのたびの調査による評価結果、◆はH25年度調査時の類似施策の評価結果です。

【施策の概要】

現状と課題	<p>○ 高齢化がより一層進むことが見込まれる中、市民が安心して快適に生活し、さまざまな活動・交流を行うためには、地域内の路線バスや鉄道等の公共交通の充実が不可欠です。</p> <p>○ 本市の公共交通の現状は、利用者の減少が減便や廃止等のサービス低下を招き、サービス低下がさらに利用者の減少を招くという悪循環になっています。「鳥取市地域公共交通総合連携計画」等に基づき、現在の公共交通体系を見直し、利便性が高く効率的な総合公共交通システムを構築する必要があります。</p> <p>○ 鉄道の高速度化は、地域の経済・文化の発展や住民福祉の向上など、地域の活性化に不可欠です。山陰新幹線やフリーゲージトレインなど高速鉄道の早期整備が望まれます。</p> <p>○ 東京への定期便が発着する鳥取砂丘コナン空港や重要港湾である鳥取港は、国内に限らず、国際物流や国際観光に対応できる交通拠点です。この拠点機能を充実させ、利便性を高めるには搭乗率の向上や取扱貨物量の安定的な確保が必要です。</p>
めざす方向	現状のバス路線網を再編し、鉄道、タクシー、自転車など他の交通手段との連携がとれた、誰もが使いやすく利便性の高い公共交通の確保を進めます。また、鳥取砂丘コナン空港と鳥取港の活用促進を図ります。
施策の主な内容	<p>① 総合公共交通システムの構築</p> <p>② 鉄道の利便性の向上</p> <p>③ 鳥取砂丘コナン空港の利用促進</p> <p>④ 鳥取港の利用促進</p>

【分析結果】

		平均値	相対順位	備 考	
重要度		4.827	6	全体平均値: 4.542	
満足度		3.167	26	全体平均値: 3.383	
ニーズ度		1.660	1	全体平均値: 1.159 ※ニーズ度=重要度-満足度	
相対評価		Ⅱ	重要度は高いが、満足度の低い項目	評価エリア	A 優先して改善を要する項目
		ニーズ度		凡例/【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は各属性における全施策中の当該施策の順位	
項目	属性	項目単位	属性単位	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>【ニーズ度分析による優先度】</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>重要度平均</p> <p>ニーズ度平均</p> </div> </div> <p>評価エリア:B 現状維持又はあり方を検討</p> <p>評価エリア:A 優先して改善を要する</p> <p>評価エリア:D 改善の必要性は低い</p> <p>評価エリア:C 現在の水準を維持</p>	
男女別	男性	2	2		
	女性	1	1		
年齢別	10歳代	3	2		
	20歳代	1	1		
	30歳代	2	3		
	40歳代	4	2		
	50歳代	5	1		
	60歳代	6	2		
	70歳代以上	7	1		
地域別	鳥取地域	1	1		
	新市域	2	2		
職業別	農林水産業	3	2		
	自営業	9	5		
	会社員・団体職員	2	2		
	公務員・教員	4	1		
	パート・アルバイト	5	1		
	学生	1	2		
	主婦・主夫	7	2		
	無職	8	1		
	その他	6	1		

※優先度は、各調査年度の重要度及びニーズ度の平均値から、当該施策がどのくらい離れているかで設定しています。  
 ※●はこのたびの調査による評価結果、◆はH25年度調査時の類似施策の評価結果です。

【施策の概要】

現状と課題	<p>○ 地球温暖化は、人の活動の拡大に伴う人為的な原因によるもので、気温や水温の上昇、降水量の変化など、気候や生態系に幅広く影響を与えています。</p> <p>○ 近年、環境配慮の意識が高まる中、自然エネルギーの導入が進むなど人々の価値観も変化してきています。</p> <p>○ 本市は、恵まれた自然環境を次代に継承するため、環境負荷の軽減の一つとして、ごみの減量化と再資源化に取り組んでいます。</p> <p>○ 稼働している可燃物処理施設は耐用年限が到来しつつあり、鳥取県東部広域行政管理組合が計画している新可燃物処理施設の建設に向けた取組を進めていく必要があります。</p>
めざす方向	<p>平成27年12月に採択された「パリ協定」に基づく国の施策に沿って、地球温暖化防止の取組を進めます。また、「第2期鳥取市環境基本計画」に基づき、市民や事業者との適切な役割分担のもと、二酸化炭素の排出抑制に向けたクリーンな自然エネルギーの普及促進を図るとともに、恵まれた環境を次代に継承するため、ごみの排出抑制に取り組むなど、持続可能な循環型社会の実現をめざします。</p>
施策の主な内容	<p>① 自然エネルギーの導入促進</p> <p>② ごみ減量化の推進</p> <p>③ 新しい可燃物処理施設の整備</p>

【分析結果】

		平均値	相対順位	備 考	
重要度		4.625	12	全体平均値:4.542	
満足度		3.530	7	全体平均値:3.383	
ニーズ度		1.095	18	全体平均値:1.159 ※ニーズ度=重要度-満足度	
相対評価		I	重要度・満足度も高い項目	評価エリア	C 現在の水準を維持する項目
		ニーズ度		凡例/【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は各属性における全施策中の当該施策の順位	
項目	属性	項目単位	属性単位	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>【ニーズ度分析による優先度】</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>重要度平均</p> <p>ニーズ度平均</p> </div> </div> <p>評価エリア:B 現状維持又はあり方を検討</p> <p>評価エリア:A 優先して改善を要する</p> <p>評価エリア:D 改善の必要性は低い</p> <p>評価エリア:C 現在の水準を維持</p> <p>重要度</p>	
男女別	男性	2	19		
男女別	女性	1	21		
年齢別	10歳代	2	15		
	20歳代	5	19		
	30歳代	1	22		
	40歳代	4	18		
	50歳代	3	12		
	60歳代	6	17		
	70歳代以上	7	17		
地域別	鳥取地域	1	18		
	新市域	2	17		
職業別	農林水産業	2	17		
	自営業	9	23		
	会社員・団体職員	4	19		
	公務員・教員	8	19		
	パート・アルバイト	5	15		
	学生	3	13		
	主婦・主夫	6	22		
	無職	7	14		
その他	1	7			

※優先度は、各調査年度の重要度及びニーズ度の平均値から、当該施策がどのくらい離れているかで設定しています。  
 ※●はこのたびの調査による評価結果、◆はH25年度調査時の類似施策の評価結果です。

【施策の概要】

現状と課題	<p>○ 自然保護や環境保全に対する市民意識は高まりつつあります。身近な市民生活に起因するごみのポイ捨て、不法投棄等の問題に引き続き取り組む必要があります。</p> <p>○ 市民との協働により自然保護や環境保全活動に取り組み、将来にわたって豊かな自然環境と快適な生活環境を守ることが必要です。</p> <p>○ 森林は、二酸化炭素の吸収効果をはじめとする環境保全機能や洪水調整機能、土砂流出防止機能など多様な機能が評価されており、森林の適切な管理・保全に取り組む必要があります。</p> <p>○ 湖山池は、沿岸部の湖山砂丘の発達により形成された潟(せき)湖(こ)で、周囲18km、面積6.9km<sup>2</sup>あり、自然池では日本一の面積です。この湖山池のCODは環境基準を上回った状態が続いており、水質改善への取組が必要です。</p>
めざす方向	<p>豊かな自然を次代へ引き継ぐため、自然保護意識の高揚や保全活動の展開を図り、身近な生活環境はもとより、森林や河川・湖沼など生態系の保全に配慮した緑豊かでうるおいのある環境先進都市をめざします。</p>
施策の主な内容	<p>① 自然保護意識の高揚と環境美化活動の促進</p> <p>② 水環境の健全化</p> <p>③ 湖山池の水質浄化</p>

【分析結果】

		平均値	相対順位	備 考	
重要度		4.530	15	全体平均値: 4.542	
満足度		3.460	11	全体平均値: 3.383	
ニーズ度		1.069	20	全体平均値: 1.159 ※ニーズ度=重要度-満足度	
相対評価		Ⅲ	重要度は低いが、満足度の高い項目	評価エリア	D 改善の必要性が低い項目
		ニーズ度		凡例/【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は各属性における全施策中の当該施策の順位	
項目	属性	項目単位	属性単位	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>【ニーズ度分析による優先度】</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>重要度平均</p> <p>ニーズ度平均</p> </div> </div> <p>評価エリア:A: 優先して改善を要する</p> <p>評価エリア:B: 現状維持又はあり方を検討</p> <p>評価エリア:C: 現在の水準を維持</p> <p>評価エリア:D: 改善の必要性は低い</p>	
男女別	男性	2	18		
男女別	女性	1	22		
年齢別	10歳代	4	21		
	20歳代	2	12		
	30歳代	1	23		
	40歳代	5	23		
	50歳代	3	16		
	60歳代	7	16		
	70歳代以上	6	16		
地域別	鳥取地域	1	17		
	新市域	2	20		
職業別	農林水産業	5	23		
	自営業	9	7		
	会社員・団体職員	2	22		
	公務員・教員	6	16		
	パート・アルバイト	3	20		
	学生	1	16		
	主婦・主夫	7	19		
	無職	8	15		
その他	4	17			

※優先度は、各調査年度の重要度及びニーズ度の平均値から、当該施策がどのくらい離れているかで設定しています。  
 ※●はこのたびの調査による評価結果、◆はH25年度調査時の類似施策の評価結果です。

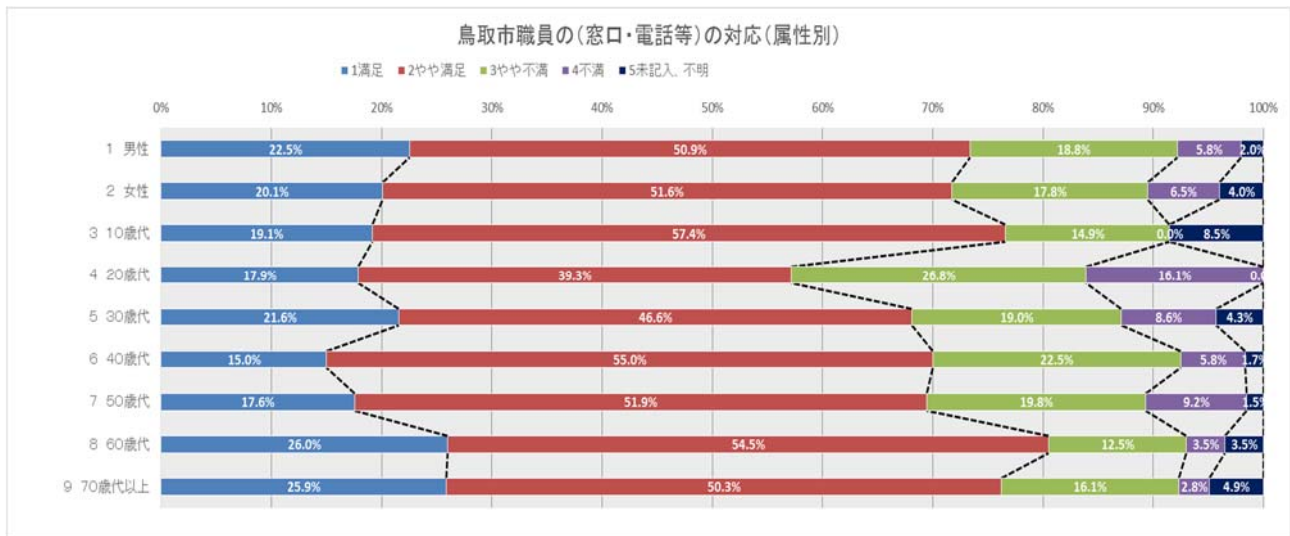
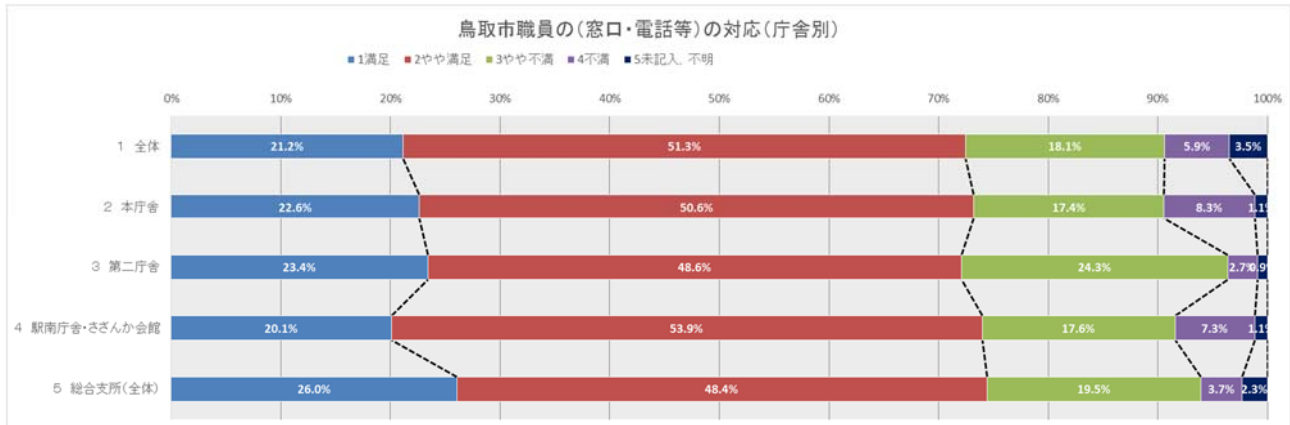
### 3 鳥取市職員の対応等に対する満足度

#### (1) 鳥取市職員の（窓口・電話等の）対応についての満足度

市の職員の対応については「満足」「やや満足」との回答が72.5%となりました。庁舎別でみると、いずれの庁舎においても70%を超えています。

属性別でみると、男女別での大きな差は見受けられませんでした。年代別では60歳代が最も高く80%を超えているほか、10歳代及び70歳代以上が70%台後半となっています。一方で、20歳代のみ60%を下回るという結果となりました。

なお、前回調査における「満足」「やや満足」の回答の割合と比べ、5.9ポイント高くなりました。

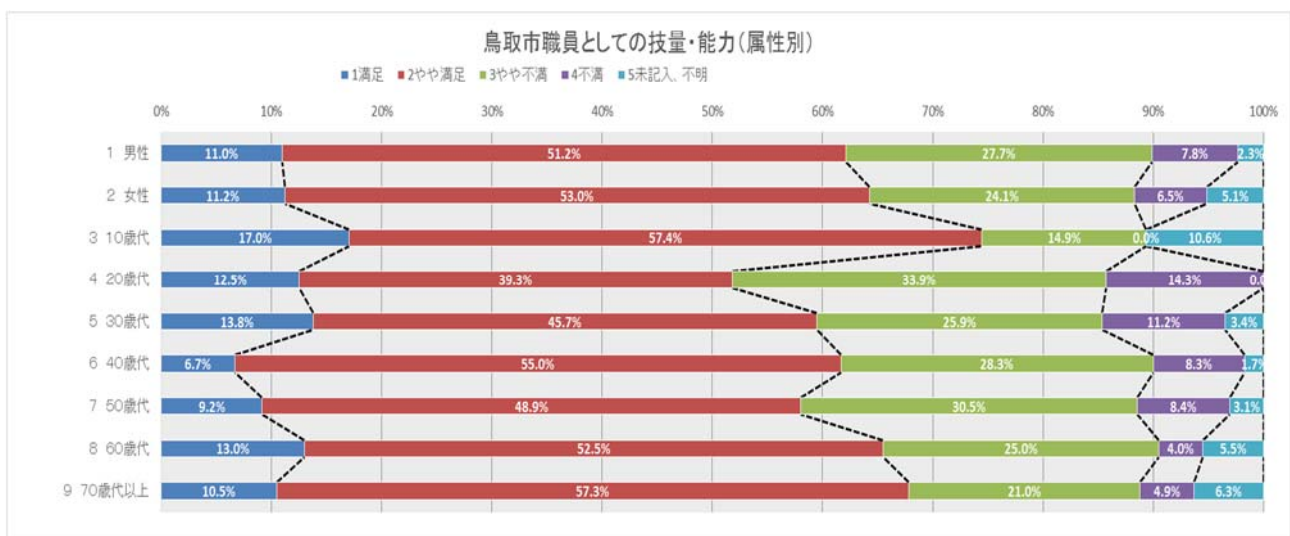
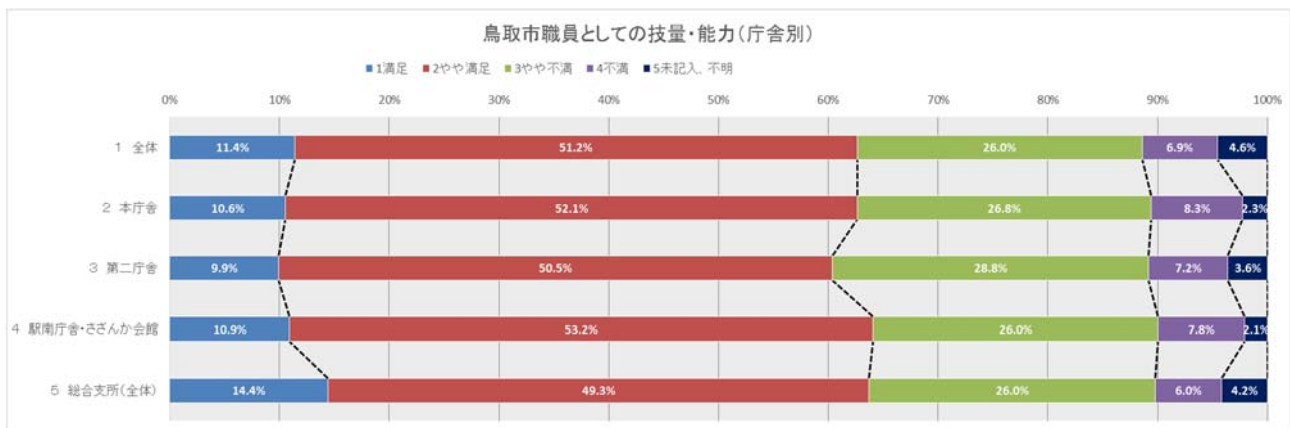


## (2) 鳥取市職員としての技量・能力についての満足度

市職員の技量・能力については「満足」「やや満足」との回答が62.6%となりました。庁舎別でみると、いずれの庁舎においても60%を超えています。

属性別でみると、男女別での大きな差は見受けられませんでした。年代別では10歳代が最も高く70%を越える結果となりました。一方で、20歳代は50%台前半に留まっています。

なお、前回調査における「満足」「やや満足」の回答の割合と比べ、12.6ポイント高くなりました。

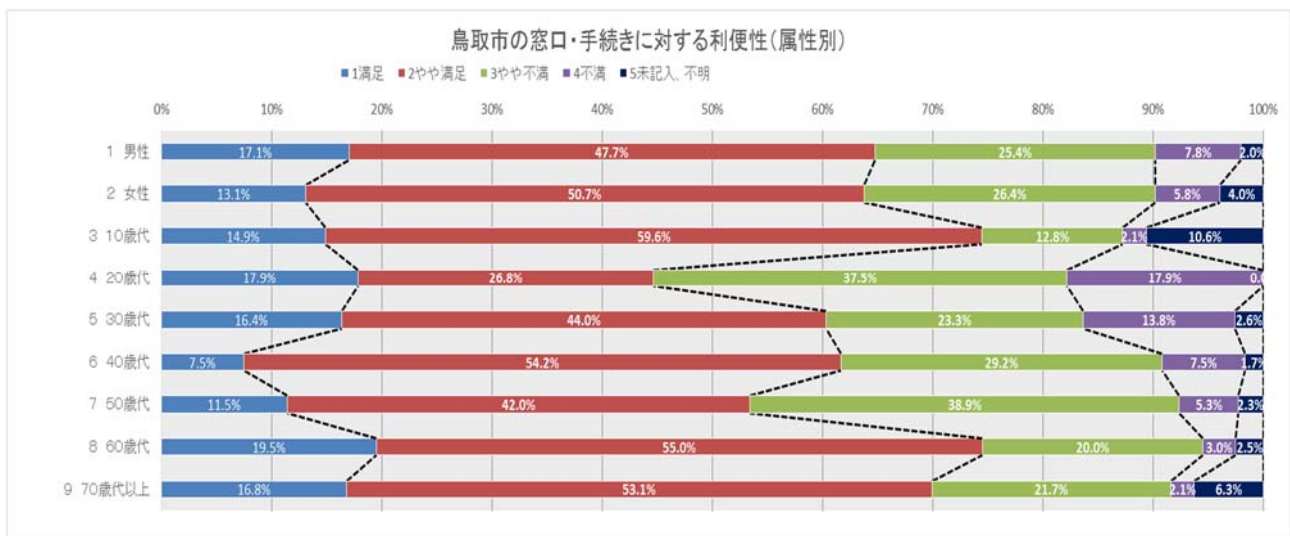
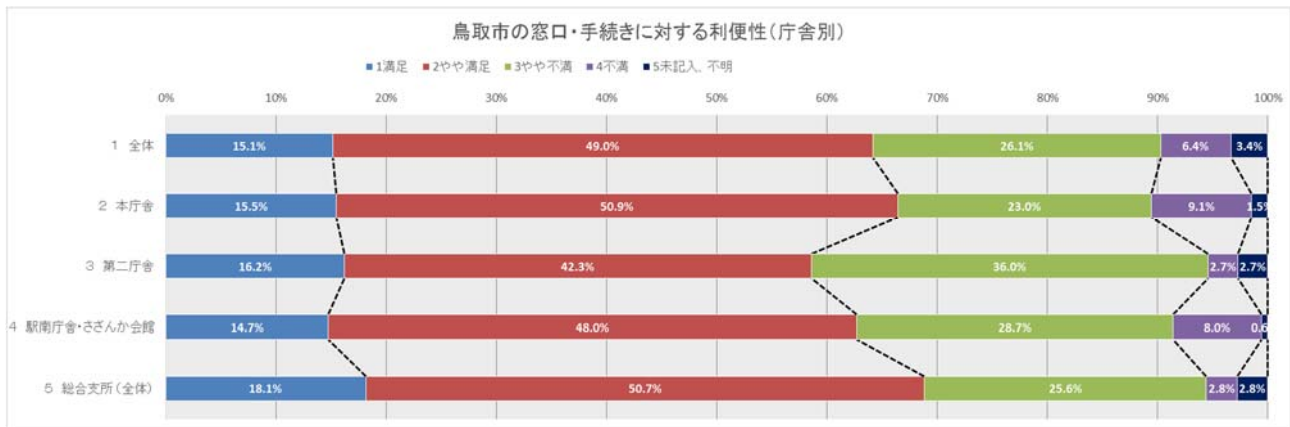


### (3) 鳥取市の窓口・手続きに対する利便性についての満足度

窓口・手続きに対する利便性については「満足」「やや満足」との回答が64.1%となりました。庁舎別でみると、本庁舎、駅南庁舎・さざんか会館、総合支所が60%を超えていますが、第二庁舎のみ60%を下回る結果となりました。

属性別でみると、男女別での大きな差は見受けられませんでした。年代別では10歳代及び60歳代が共に74.5%で最も高く、次いで70歳代以上が約70%となっています。一方で、20歳代は40%台前半に留まっています。

なお、前回調査における「満足」「やや満足」の回答の割合と比べ、4.2ポイント高くなりました。





#### 4 参考資料

##### 施策順位の前回調査結果との比較

ここでは、平成25年度に第9次総合計画を対象に実施した調査結果を基に、類似施策の順位の変化を比較しています。特に、順位差が5位以上ある施策を網掛けし示しています。

##### 重要度

順位	10次総の施策	順位	9次総の施策
1	健康づくり、疾病予防の推進	1	保健、医療、福祉の連携強化
2	地域包括ケアの推進	2	子育て応援の充実
3	雇用の創造・人材の確保	3	雇用創出・環境の充実
4	防犯・交通安全対策の充実	4	健康づくり、疾病予防の推進
5	結婚・出産・子育て支援	5	教育の充実
6	公共交通の確保	6	防犯・交通安全対策の充実
7	地域防災力の向上	7	工業の振興
8	安心できる社会保障制度の運営	8	安心できる社会保障制度の運営
9	生活基盤の充実	9	地域防災力の充実
10	教育の充実・郷土愛の醸成	10	地域福祉力の向上
11	障がいのある人の自立支援	11	生活基盤の充実
12	循環型社会の形成	12	農林水産業の振興
13	滞在型観光の推進	13	商業・サービス業の振興
14	工業の振興	14	移住・定住の促進
15	環境保全活動の推進	15	循環型社会の形成
16	農林水産業の振興	16	環境保全活動の推進
17	ふるさと・いなか回帰の促進	17	ビジットとつとりの展開
18	男女共同参画社会の形成	18	協働のまちづくりの推進
19	生涯学習の推進	19	公共交通の確保
20	安全な消費生活の確保	20	人権意識の醸成
21	商業・サービス業の振興	21	男女共同参画社会の形成
22	シティセールスの推進	22	安全な消費生活の確保
23	中心市街地の活性化	23	文化財の保存・活用
24	人権擁護の推進と人権意識の醸成	24	生涯学習の推進
25	スポーツ・レクリエーションの振興	25	文化芸術の振興
26	協働のまちづくりの推進	26	スポーツ・レクリエーションの振興
27	文化芸術の振興	27	中心市街地の活性化
28	文化財の整備・保存・活用	28	情報通信技術の活用
29	魅力ある中山間地域の振興	29	交流拠点の魅力創出
30	世界に開かれたまちづくり	-	-

※濃い網掛けは、今回の調査結果の方が順位の高いもの

※薄い網掛けは、前回の調査結果の方が順位の高いもの

満足度

順位	10次総の施策	順位	9次総の施策
1	健康づくり、疾病予防の推進	1	健康づくり、疾病予防の推進
2	防犯・交通安全対策の充実	2	生活基盤の充実
3	滞在型観光の推進	3	スポーツ・レクリエーションの振興
4	スポーツ・レクリエーションの振興	4	保健、医療、福祉の連携強化
5	生活基盤の充実	5	防犯・交通安全対策の充実
6	地域防災力の向上	6	ビジットとつとりの展開
7	循環型社会の形成	7	人権意識の醸成
8	シティセールスの推進	8	環境保全活動の推進
9	地域包括ケアの推進	9	地域防災力の充実
10	教育の充実・郷土愛の醸成	10	文化財の保存・活用
11	環境保全活動の推進	11	安全な消費生活の確保
12	結婚・出産・子育て支援	12	循環型社会の形成
13	文化財の整備・保存・活用	13	子育て応援の充実
14	安心できる社会保障制度の運営	14	安心できる社会保障制度の運営
15	安全な消費生活の確保	15	文化芸術の振興
16	男女共同参画社会の形成	16	生涯学習の推進
18	人権擁護の推進と人権意識の醸成	17	地域福祉力の向上
17	ふるさと・いなか回帰の促進	18	男女共同参画社会の形成
19	文化芸術の振興	19	教育の充実
20	協働のまちづくりの推進	20	農林水産業の振興
21	生涯学習の推進	21	公共交通の確保
22	障がいのある人の自立支援	22	協働のまちづくりの推進
23	農林水産業の振興	23	情報通信技術の活用
24	工業の振興	24	中心市街地の活性化
25	雇用の創造・人材の確保	25	移住・定住の促進
26	公共交通の確保	26	商業・サービス業の振興
27	中心市街地の活性化	27	交流拠点の魅力創出
28	世界に開かれたまちづくり	28	工業の振興
29	商業・サービス業の振興	29	雇用創出・環境の充実
30	魅力ある中山間地域の振興	-	-

※濃い網掛けは、今回の調査結果の方が順位の高いもの

※薄い網掛けは、前回の調査結果の方が順位の高いもの

ニーズ度

順位	10次総の施策	順位	9次総の施策
1	公共交通の確保	1	雇用創出・環境の充実
2	雇用の創出・人材の確保	2	工業の振興
3	地域包括ケアの推進	3	子育て応援の充実
4	結婚・出産・子育て支援	4	教育の充実
5	障がいのある人の自立支援	5	商業・サービス業の振興
6	安心できる社会保障制度の運営	6	安心できる社会保障制度の運営
7	工業の振興	7	移住・定住の促進
8	商業・サービス業の振興	8	保健、医療、福祉の連携強化
9	農林水産業の振興	9	地域防災力の充実
10	中心市街地の活性化	10	地域福祉力の向上
11	教育の充実・郷土愛の醸成	11	農林水産業の振興
12	地域防災力の向上	12	防犯・交通安全対策の充実
13	生活基盤の充実	13	健康づくり、疾病予防の推進
14	健康づくり、疾病予防の推進	14	協働のまちづくりの推進
15	防犯・交通安全対策の充実	15	公共交通の確保
16	生涯学習の推進	16	生活基盤の充実
17	魅力ある中山間地域の振興	17	循環型社会の形成
18	ふるさと・いなか回帰の促進	18	男女共同参画社会の形成
19	循環型社会の形成	19	環境保全活動の推進
20	環境保全活動の推進	20	中心市街地の活性化
21	男女共同参画社会の形成	21	安全な消費生活の確保
22	安全な消費生活の確保	22	ビジットとどりの展開
23	人権擁護の推進と人権意識の醸成	23	人権意識の醸成
24	協働のまちづくりの推進	24	生涯学習の推進
25	滞在型観光の推進	25	文化財の保存・活用
26	文化芸術の振興	26	文化芸術の振興
27	シティセールスの推進	27	情報通信技術の活用
28	文化財の整備・保存・活用	28	交流拠点の魅力創出
29	世界に開かれたまちづくり	29	スポーツ・レクリエーションの振興
30	スポーツ・レクリエーションの振興	-	-

※濃い網掛けは、今回の調査結果の方が順位の高いもの

※薄い網掛けは、前回の調査結果の方が順位の高いもの